施策17

暮らしを支える生活基盤が整ったまちをつくる

（全 15 事務事業）

施策17.暮らしを支える生活基盤が整ったまちをつくる

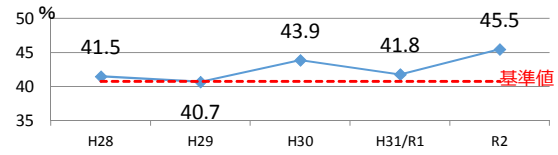
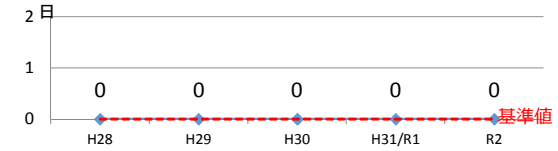
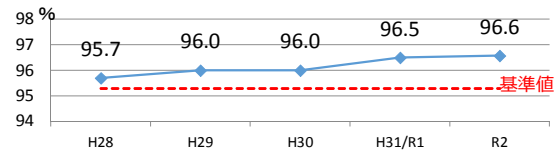
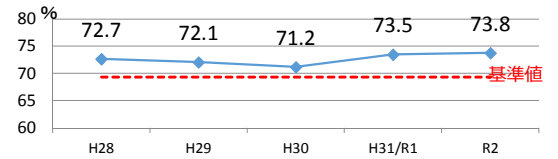
● 施策評価表

● 事務事業評価表

		掲載開始ページ
1. 桜丘下水道処理施設跡地管理事業	（生活安全課）	17-1
2. し尿処理補償事業	（生活安全課）	17-3
3. 道路維持管理事業	（都市整備課）	17-5
4. 道路新設改良事業	（都市整備課）	17-7
5. 橋梁維持管理事業	（都市整備課）	17-9
6. 交通安全施設整備・維持管理事業	（都市整備課）	17-11
7. 都市計画道路志免・宇美線建設事業	（都市整備課）	17-13
8. 都市計画事務	（都市整備課）	17-15
9. 公園管理事業	（都市整備課）	17-17
10. 下水排水路維持管理事業	（都市整備課）	17-19
11. 下水排水路新設改良事業	（都市整備課）	17-21
12. 国鉄炭鉱跡地共同管理執行協議会事業	（都市整備課）	17-23
13. 都市計画マスタープラン改定業務	（都市整備課）	17-25
14. 志免町水道事業	（上下水道課）	17-27
15. 志免町流域関連公共下水道事業	（上下水道課）	17-29

施策評価表			後期 «平成28年度～令和2年度»	
計画体系	政策	5．安全で快適に暮らせるまち【防犯・防災・住環境】	施策統括課	都市整備課
計画体系	施策	17．暮らしを支える生活基盤が整ったまちをつくる	関係課	上下水道課

1．めざそう値からみた達成度

成果指標	単位	基準値	最終実績値 / 目標	実績値の年次推移	判定
町内の道路が安全で便利に通行できると感じる町民の割合（町民意識調査）	%	40.8	45.5 ↗		a
給水制限・断水の発生日数	日	0.0	0.0 →		a
下水道水洗化率	%	95.3	96.6 ↗		a
身近に利用できる公園・広場があると感じる町民の割合（町民意識調査）	%	69.4	73.8 ↗		a

めざそう値達成度：a …目標を達成している、b …目標をわずかに達成していない　c …目標を達成していない

2．取り組み方針の実施状況と方向性

17－1　安全で便利な道路環境を整える	所管課
町民意識調査からみた重要度/満足度　順位（57項目中） 安全で便利な道路環境の整備　4位/55位	都市整備課

成果指標	単位	基準値	目標	区分	実績値の年次推移 H28	H29	H30	H31/R1	R2	判定
町内の道路が安全で便利に通行できると感じる町民の割合（町民意識調査）	%	40.8	↗	実績値	41.5	40.7	43.9	41.8	45.5	○
事故発生件数（町道・水路等）	件	3	↘	実績値	2	2	0	1	1	○
通学路における施設整備率	%	－	↗	実績値	20.0	40.0	60.0	80.0	100.0	○

成果指標達成度：○ …目標を達成している　×…目標を達成していない

成果指標総合判定：A …成果指標判定がすべて○、B …半数以上が○、C …半数未満が○

成果指標総合判定
A

まちが取り組むべきこと①		町民の生活における利便性向上のため都市計画道路・志免宇美線の早期完成をめざし、関係機関に働きかけます
	5年間の取り組み状況	・志免宇美線建設促進期成会を開催、調整会議（福岡県、志免町、宇美町）を行い、早期完成をめざし関係機関に働きかけを行った。
	残された課題	・早期完成のためには、引き続き関係機関との連携が必要となる。
	令和4年度取り組み方針	・福岡県事業であるため、引き続き、県や宇美町と連携して必要な事業に取り組む。

まちが取り組むべきこと②	歩道を含む町道の整備を進めるとともに、橋梁改修対策を推進します
5年間の取り組み状況	・老朽化した町道の舗装打替工事や崩壊の恐れのある法面に擁壁を設置して町道を拡幅するなどの取り組みを行った。また、補助事業を活用し、老朽化した橋梁の点検を実施した。
残された課題	・なし
令和4年度取り組み方針	・引き続き、志免町道路整備計画や橋梁個別施設計画に基づき優先順位を付け、補助事業も活用しながら事業に取り組んでいく。
まちが取り組むべきこと③	通学路の危険箇所や水路への転落防止の安全対策を進めます
5年間の取り組み状況	・歩行者、自転車及び自動車の安全確保、交通事故防止のため、町道について交通安全施設（ガードレール、カーブミラー、区画線、横断防止柵、車止め、道路照明等）整備の取り組みを行った。
残された課題	・継続的な危険箇所の把握。
令和4年度取り組み方針	・引き続き、志免町通学路交通安全プログラムや志免町道路転落等危険箇所対策計画に基づき優先順位を付け、補助事業も活用しながら事業に取り組んでいく。

取り組み方針の達成状況

- ☑ 方針に沿った取り組みを実施し、ほぼ目標どおりの成果をあげている
- ☐ 方針に沿った取り組みを実施したが、成果があがっていない
- ☐ 方針に沿った取り組みを実施できず、成果があがっていない

令和4年度の取り組み方針の方向性	☐ 重点 ☐ 維持 ☑ その他

１７－２　都市計画に基づいた土地利用を進める

所管課：都市整備課

町民意識調査からみた重要度/満足度　順位（57項目中）
都市計画に基づいた土地利用　42位/46位

成果指標	単位	基準値	目標	区分	実績値の年次推移 H28	H29	H30	H31/R1	R2	判定
地区計画などの制度により誘導され、開発された市街化調整区域内の面積	㎡	0	↗	実績値	0	0	0	0	0	×

成果指標達成度：○ …目標を達成している　×…目標を達成していない
成果指標総合判定：Ａ…成果指標判定がすべて○、Ｂ…半数以上が○、Ｃ…半数未満が○

成果指標総合判定
C

まちが取り組むべきこと①	志免町都市計画マスタープランに沿った計画的な土地利用を行うため、引き続き町民への都市計画に関する各種制度の周知につとめます
5年間の取り組み状況	・「志免町都市計画マスタープラン」や「市街化調整区域における地区計画の運用基準」などの町の都市計画や土地利用に関する制度についてＨＰ及び窓口にて周知を行った。また、令和2年度から都市計画マスタープランの中間見直しを行っている。
残された課題	・町民からの土地利用転換の気運が高まっている場所があるものの、手法や手順の検討や地元との調整にどうしても時間がかかるため、いまだ実現に至っていない。
令和4年度取り組み方針	・各地域の気運を取り込んだ改定志免町都市計画マスタープランの内容に沿った土地利用を推進する。

取り組み方針の達成状況

- ☐ 方針に沿った取り組みを実施し、ほぼ目標どおりの成果をあげている
- ☑ 方針に沿った取り組みを実施したが、成果があがっていない
- ☐ 方針に沿った取り組みを実施できず、成果があがっていない

令和4年度の取り組み方針の方向性	☐ 重点 ☑ 維持 ☐ その他

１７－３　安全な水を安定して供給する	所管課
町民意識調査からみた重要度/満足度　順位（57項目中） 安全な水を安定供給　2位/16位	上下水道課

成果指標	単位	基準値	目標	区分	実績値の年次推移					判定
					H28	H29	H30	H31/R1	R2	
給水制限・断水の発生日数	件	0	→	実績値	0	0	0	0	0	○
水道事業会計の経常収支比率	%	111.9	→	実績値	115.0	124.6	128.3	123.1	120.3	○

成果指標達成度：○ …目標を達成している　×…目標を達成していない
成果指標総合判定：Ａ…成果指標判定がすべて○、Ｂ…半数以上が○、Ｃ…半数未満が○

成果指標総合判定
A

まちが取り組むべきこと①	施設の統廃合を含めた効率的な運営管理と志免町水道事業ビジョンにもとづく施設更新を実施します
5年間の取り組み状況	・災害に備え、土生山浄水場内にある非常用自家発電装置の更新や、渇水に備えた水源確保のため、土生山浄水場内に揚水施設の整備を行うなど、水道事業ビジョンに基づいた計画的な施設更新を実施した。
残された課題	・水源余裕率は同規模事業体と比較して低い水準であるため、降雨に左右されにくい水源の確保が必要である。
令和4年度取り組み方針	・水道水の安定供給のため、健全な水道事業経営を行うとともに、老朽化施設の更新や耐震化工事、水源の確保を進める。

取り組み方針の達成状況

- ☑ 方針に沿った取り組みを実施し、ほぼ目標どおりの成果をあげている
- ☐ 方針に沿った取り組みを実施したが、成果があがっていない
- ☐ 方針に沿った取り組みを実施できず、成果があがっていない

令和4年度の取り組み方針の方向性	☐ 重点 ☐ 維持 ☑ その他

１７－４　町民の憩いの場となる公園を維持・管理する	所管課
町民意識調査からみた重要度/満足度　順位（57項目中） 公園の維持管理　25位/11位	都市整備課

成果指標	単位	基準値	目標	区分	実績値の年次推移					判定
					H28	H29	H30	H31/R1	R2	
身近に利用できる公園・広場があると感じる町民の割合（町民意識調査）	%	69.4	↗	実績値	72.7	72.1	71.2	73.5	73.8	○
町民一人当たりの都市公園面積	㎡	10.21	→	実績値	10.25	10.20	10.15	10.15	10.02	○

成果指標達成度：○ …目標を達成している　×…目標を達成していない
成果指標総合判定：Ａ…成果指標判定がすべて○、Ｂ…半数以上が○、Ｃ…半数未満が○

成果指標総合判定
A

まちが取り組むべきこと①	公園の維持管理を進めるとともに、町民の憩いの場としての利用促進をはかります
5年間の取り組み状況	・老朽化した公園施設について、園路舗装の改修やトイレの建替、遊具の修繕の実施、また、樹木等の緑地については、草刈りや剪定等の樹木管理を計画的に実施し、公園利用者の快適性や利便性向上にむけて事業に取り組んだ。
残された課題	・公園施設の老朽化。
令和4年度取り組み方針	・身近に利用できる公園等があると感じられるよう、快適性や利便性を向上することで公園の利用促進を図る。また、引き続き公園施設の老朽化対策について優先順位を設け事業に取り組む。

取り組み方針の達成状況

- ☑ 方針に沿った取り組みを実施し、ほぼ目標どおりの成果をあげている
- ☐ 方針に沿った取り組みを実施したが、成果があがっていない
- ☐ 方針に沿った取り組みを実施できず、成果があがっていない

令和4年度の取り組み方針の方向性	☐ 重点 ☑ 維持 ☐ その他

１７－５　雨水・下水を適切に処理する	所管課
町民意識調査からみた重要度/満足度　順位（57項目中） 雨水・下水の適切な処理　38位/14位	都市整備課

成果指標	単位	基準値	目標	区分	実績値の年次推移					判定
					H28	H29	H30	H31/R1	R2	
道路冠水対策整備率（H27以降）	%	1.0	↗	実績値	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	○
公共下水道普及率	%	99.7	→	実績値	99.8	99.8	99.9	99.9	100.0	○
下水道水洗化率	%	95.3	↗	実績値	95.7	96.0	96.0	96.5	96.6	○

成果指標達成度：○ …目標を達成している　×…目標を達成していない
成果指標総合判定：Ａ…成果指標判定がすべて○、Ｂ…半数以上が○、Ｃ…半数未満が○

成果指標総合判定
A

まちが取り組むべきこと①	冠水対策を推進するとともに、下水排水路の新設・改良を進めます
5年間の取り組み状況	・冠水対策を推進するため、志免町道路冠水対策基本計画に基づき、冠水実績のある地域の下水排水路の改良等の対策工事を実施した。
残された課題	・冠水地域の解消。
令和4年度取り組み方針	・道路冠水解消のため、冠水対策工事による効果を検証し、引き続き優先順位を設け事業に取り組みます。

取り組み方針の達成状況

- ☑ 方針に沿った取り組みを実施し、ほぼ目標どおりの成果をあげている
- ☐ 方針に沿った取り組みを実施したが、成果があがっていない
- ☐ 方針に沿った取り組みを実施できず、成果があがっていない

令和4年度の取り組み方針の方向性	
	☐ 重点 ☐ 維持 ☑ その他

３．施策の総括と今後の展開

めざそう値である「町内の道路が安全で便利に通行できると感じる町民の割合」、「給水制限、断水の発生日数」、「下水道水洗化率」および「身近に利用できる公園・広場があると感じる町民の割合」は、すべて目標を達成することができた。今後も各種計画に基づいた住民生活に欠かせないインフラの整備及び維持管理を行うことで、効果的に事業に取り組んでいく。また、改定された志免町都市計画マスタープランに掲げる将来都市像実現に向けた取組みを進めていく。

４．施策の達成状況

☑ 目標をすべて達成できた	※めざそう値の判定ですべてがa
☐ 目標をある程度達成できた	※めざそう値の判定で半数以上がa
☐ 目標をあまり達成できなかった	※めざそう値の判定で半数未満がa
☐ 目標を達成できなかった	※めざそう値の判定ですべてがｂまたはｃ

[志免町]

事務事業評価表（事業実施年度：令和02年度）

☐ 令和02年度 実施計画事業　　作成日 令和 3 年 4 月 1 日

事務事業	12049	桜丘下水処理施設跡地管理事業	担当課	生活安全課	担当係	生活環境係

後期計画体系				予算科目			
計画	施策	17	暮らしを支える生活基盤が整ったまちをつくる		会計	1	一般会計
					款	4	衛生費
体系	取り組み方針	490	町民の憩いの場となる公園を維持管理する		項	2	清掃費
					目	4	下水処理費
法令根拠条例等				個別計画			

実施期間　☐02年度のみ　☑単年度繰返　S49 年度より開始　☐期間限定（複数年）　年度～　年度

【事業の目的・内容】（改行は、「Alt」+「Enter」で行ってください）

平成20年度まで桜丘団地から排出される汚水や生活排水を処理し、生活環境の向上をはかり、河川等の公共水域の水質保全をはかっていた桜丘下水処理施設跡地境界の雑草除去等並びに過年度使用料の事務。

【業務内容(町職員の仕事内容)】（改行は、「Alt」+「Enter」で行ってください）

桜丘下水処理施設跡地の維持管理に関する事務

☐ 2次評価会議に提出します（左にチェックを入れる）

主な事業費の内訳

樹木管理委託料	1,157 千円
電気・ガス料	40 千円
	千円
	千円
	千円

1 現状把握の部（DO）

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段（主な活動）

02年度に行った主な活動（※箇条書きで記入）

桜丘下水処理施設跡地境界の雑草除去及び樹木の剪定。

② 対象（誰、何を対象にしているのか）

桜丘下水処理施設跡地

③ 意図（この事業で、対象をどのような状態にしたいのか）

適正に管理される

事務事業の目的

④ 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）

	名称	単位	01年度	02年度	03年度
			指標数値		
ア	処理量	㎡	0	1820	1820（見込）
イ	草・樹木の苦情件数	件	3	0	0（見込）
ウ					（見込）

⑤ 対象指標（対象の大きさを表す指標）

	名称	単位	01年度	02年度	03年度
ア	処理人口	人	0	0	0（見込）
イ	桜丘団地人口	人	4,059	4,024	4,000（見込）
ウ					（見込）

⑥ 成果指標（対象における意図の達成度を表す指標）

	名称	単位		01年度	02年度	03年度
ア	処理量	㎡	目標	0	0	1820
			実績	0	1820	
イ	草除去・樹木の剪定処理件数	件	目標	3	3	3
			実績	3	3	
ウ			目標			
			実績			
エ			目標			
			実績			
オ			目標			
			実績			

(2) 総事業費の推移

事業費	財源内訳（千円）		01年度（決算値）	02年度（当初予算）	02年度（決算値）	03年度（当初予算）	04年度（計画）	05年度（計画）
	経費	国・県支出金、地方債等						
		受益者負担等						
		一般財源	1,585	1,247	1,197	1,391		
		合計（A）	1,585	1,247	1,197	1,391	0	0
	（内 会計年度任用職員人件費）							
	正職員人件費[按分]（B）		376	389	384	1,336		
	トータルコスト（A）＋（B）		1,961	1,636	1,581	2,727	0	0

事務事業評価表（事業実施年度：令和02年度）

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を開始したきっかけは何ですか？いつ頃どんな経緯で開始されましたか？	② 事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化していますか？	③ 事務事業に対して関係者からどんな意見や要望が寄せられていますか？（誰からの意見か明記）
桜丘団地が開発され、昭和49年から開始。 平成23年3月から公共下水道に接続したため処理場を停止した。	平成23年度に桜丘終末処理場の解体工事終了し、広場として活用しているが、近隣との境界の樹木等の管理が必要である。	特になし

(4) 昨年度の評価結果の取り組み状況調べ

昨年度の事務事業評価結果		02年度の取り組み状況と今後の方針	
事業の方向性	令和02年度の取り組み概要及び期待される効果	実施状況	実施できなかった理由と今後の方針
☐ 廃止・休止 ☐ 目的の見直し ☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 事務事業終了 ☑ 現状維持・継続		☐ 記述どおり実施できた（コメント必要ありません） ☐ 一部実施できた（理由→） ☐ 実施できなかった（理由→）	

2 評価（SEE）及び全体総括の部＊原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

(1) 評価		評価の理由
目的妥当性評価	① 上位施策への貢献度は大きいですか？※総合計画を参照してください ☑ 貢献度大きい（理由→） ☐ 貢献度ふつう（理由→） ☐ 貢献度小さい（理由→）	地域住民の快適な生活基盤の整備に関わるため、貢献度は大きい。
	② 税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？（事業の目的は、総合計画の町の役割や基本方針に合っていますか？） ☑ 妥当である（理由→） ☐ 妥当性が低い（理由→）	公共性が高い事業であるため、行政が行う事業と考える。
有効性評価	③ 成果がこれ以上向上する余地（可能性）はありますか？ ☐ 成果向上余地がある （理由→） ☑ 成果向上余地がない （理由→）	公共性が高い事業であるため、行政が行う事業と考える。
	④ 廃止・休止した場合、成果への影響はありますか？ ☑ 影響あり（理由→） ☐ 影響なし（理由→）	基本的には過年度の桜丘下水の使用料の事務、雑草及び樹木の管理だが、跡地の管理が必要。
効率性評価	⑤ 現状の成果を落とさずにコスト（予算＋事務従事時間）を削減する新たな方法はありますか？（広域連携や民間委託等の導入など） ☐ ある（具体的な内容→） ☑ ない（理由→）	管理をしていくのに最低限の予算。

(2) 02年度を振り返って（全体総括・反省点）

地元桜丘運営委員会の要望により跡地を子ども広場とし、使用管理運用をお願いしている。
町としては、雑草の除草処理を行った。

3 今後の方向性（03年度以降の計画と04年度予算への反映）(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性（複数選択可）	(2) 令和03年度以降に取り組む内容と期待される効果
☐ 廃止・休止（理由→） ☐ 目的の見直し（内容→） ☐ 有効性改善（成果向上）内容→ ☐ 効率性改善（コスト削減）内容→ ☐ 事業終了 ☑ 現状維持・継続	

[志免町]

事務事業評価表（事業実施年度：令和02年度）

☐ 令和02年度 実施計画事業　　作成日 令和 3 年 4 月 1 日

事務事業	12050	し尿処理補償事業	担当課	生活安全課	担当係	生活環境係

計画体系				予算科目			
後期計画	施策	17	暮らしを支える生活基盤が整ったまちをつくる		会計	1	一般会計
					款	4	衛生費
	取り組み方針	500	雨水・下水を適切に処理する		項	2	清掃費
					目	1	清掃総務費
法令根拠条例等				個別計画			

実施期間　☐02年度のみ　☐単年度繰返　　年度より開始　☑期間限定（複数年）　25 年度～ 34 年度

【事業の目的・内容】（改行は、「Alt」+「Enter」で行ってください）

し尿汲取りを利用する町民が、し尿処理が適正に行われることを目的とする。また、し尿汲取り許可業者が健全な事業の運営が行われることを目的とする。

☐ 2次評価会議に提出します（左にチェックを入れる）

【業務内容(町職員の仕事内容)】（改行は、「Alt」+「Enter」で行ってください）

許可業者2社への補償金の支払い事務

主な事業費の内訳

し尿汲み取り補償費
9,600 千円
千円
千円
千円
千円

1 現状把握の部（DO）

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段（主な活動）

02年度に行った主な活動（※箇条書きで記入）

覚書を基に2業者へ補償金の支払いを行った。

④ 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）

	名称	単位	01年度	02年度	03年度
			指標数値		
ア	し尿汲取り搬入量	t	1,038	963	950（見込）
イ					（見込）
ウ					（見込）

事務事業の目的

② 対象（誰、何を対象にしているのか）

町民・許可業者

⑤ 対象指標（対象の大きさを表す指標）

	名称	単位	01年度	02年度	03年度
ア	し尿汲取り基数	基	490	483	480（見込）
イ					（見込）
ウ					（見込）

③ 意図（この事業で、対象をどのような状態にしたいのか）

・し尿処理の適正化
・受益者負担の公平化

⑥ 成果指標（対象における意図の達成度を表す指標）

	名称	単位		01年度	02年度	03年度
ア	し尿汲取り人口	人	目標	1,240	990	990
			実績	992	976	
イ			目標			
			実績			
ウ			目標			
			実績			
エ			目標			
			実績			
オ			目標			
			実績			

(2) 総事業費の推移

事業費	財源内訳（千円）		01年度（決算値）	02年度（当初予算）	02年度（決算値）	03年度（当初予算）	04年度（計画）	05年度（計画）
	経費	国・県支出金、地方債等						
		受益者負担等						
		一般財源	9,600	9,600	9,600	9,600		
		合計（A）	9,600	9,600	9,600	9,600	0	0
		（内 会計年度任用職員人件費）						
	正職員人件費[按分]（B）		1,126	1,167	1,150	233		
	トータルコスト（A）＋（B）		10,726	10,767	10,750	9,833	0	0

事務事業評価表（事業実施年度：令和02年度）

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を開始したきっかけは何ですか？いつ頃どんな経緯で開始されましたか？	② 事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化していますか？	③ 事務事業に対して関係者からどんな意見や要望が寄せられていますか？（誰からの意見か明記）
平成6年3月に締結された補償の基本契約書を基づき、粕屋郡内8ヶ町の各町長と粕屋環境整備事業協同組合理事長において、具体的な合意を得た覚書を締結した。	公共下水道の普及により処理量が減少してきている。	特になし。

(4) 昨年度の評価結果の取り組み状況調べ

昨年度の事務事業評価結果		02年度の取り組み状況と今後の方針	
事業の方向性	令和02年度の取り組み概要及び期待される効果	実施状況	実施できなかった理由と今後の方針
☐ 廃止・休止 ☐ 目的の見直し ☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 事務事業終了 ☑ 現状維持・継続		☐ 記述どおり実施できた（コメント必要ありません） ☐ 一部実施できた（理由→） ☐ 実施できなかった（理由→）	

2 評価（SEE）及び全体総括の部＊原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

(1) 評価		評価の理由
目的妥当性評価	① 上位施策への貢献度は大きいですか？※総合計画を参照してください ☑ 貢献度大きい（理由→） ☐ 貢献度ふつう（理由→） ☐ 貢献度小さい（理由→）	し尿・汚泥を適正に処理するため必要。
目的妥当性評価	② 税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？（事業の目的は、総合計画の町の役割や基本方針に合っていますか？） ☑ 妥当である（理由→） ☐ 妥当性が低い（理由→）	下水道の整備等に伴う一般廃棄物処理業等の合理化に関する特別措置法に伴い補償・補填の覚書に基いたものであり、し尿処理を安定的に継続する目的である。
有効性評価	③ 成果がこれ以上向上する余地（可能性）はありますか？ ☐ 成果向上余地がある （理由→） ☑ 成果向上余地がない （理由→）	し尿・汚泥は適正に処理されている。
有効性評価	④ 廃止・休止した場合、成果への影響はありますか？ ☑ 影響あり（理由→） ☐ 影響なし（理由→）	し尿・汚泥は適正に処理されている。
効率性評価	⑤ 現状の成果を落とさずにコスト（予算＋事務従事時間）を削減する新たな方法はありますか？（広域連携や民間委託等の導入など） ☐ ある（具体的な内容→） ☑ ない（理由→）	平成25年度の覚書に基づいた補填金であるため削減はできない。

(2) 02年度を振り返って（全体総括・反省点）

平成6年3月に締結された補償の基本契約書を基づき、粕屋郡内8ヶ町の各町長と粕屋環境整備事業協同組合理事長において、具体的な合意を得た覚書に基づいた補填について、平成25年度に覚書で補填金額を10年分割で支払うことを定めている。この覚書に基づき補填金の支払いを行った。

3 今後の方向性（03年度以降の計画と04年度予算への反映）(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性（複数選択可）	(2) 令和03年度以降に取り組む内容と期待される効果
☐ 廃止・休止（理由→） ☐ 目的の見直し（内容→） ☐ 有効性改善（成果向上）内容→ ☐ 効率性改善（コスト削減）内容→ ☐ 事業終了 ☑ 現状維持・継続	

[志免町]

事務事業評価表（事業実施年度：令和02年度）

☐ 令和02年度 実施計画事業　　作成日 令和 3 年 4 月 日

事務事業	13022	道路維持管理事業	担当課	都市整備課	担当係	都市整備係

後期計画体系				予算科目			
計画	施策	17	暮らしを支える生活基盤が整ったまちをつくる		会計	1	一般会計
					款	8	土木費
	取り組み方針	460	安全で便利な道路環境を整える		項	2	道路橋梁費
					目	2	道路維持費
法令根拠条例等		道路法・志免町道路管理条例		個別計画			
実施期間	☐02年度のみ	☑単年度繰返	不明 年度より開始	☐期間限定（複数年）	年度～ 年度		

【事業の目的・内容】（改行は、「Alt」+「Enter」で行ってください）

町道における事故防止と災害時等の迅速な対応ができる体制を整えておくと共に、車輌や歩行者の安全かつ円滑な道路交通を図るため、各種専門業者（舗装、樹木管理、土木等）と年間契約を結び、志免町管内の町道の維持管理を行っている。

【業務内容(町職員の仕事内容)】（改行は、「Alt」+「Enter」で行ってください）

日常はパトロールを行い、修繕が必要な箇所があれば職員で修繕を行う。できない場合は現地の状況把握行った上で、舗装、樹木管理や土木の年間業務委託契約の専門業者への修繕指示を行う。

☐ 2次評価会議に提出します（左にチェックを入れる）

主な事業費の内訳

町道補修工事	59,983 千円
樹木管理委託料	26,547 千円
草刈委託料	17,302 千円
町内道路清掃業務委託料	1,650 千円
消耗品費	102 千円

1 現状把握の部（DO）

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段（主な活動）

02年度に行った主な活動（※箇条書きで記入）

道路舗装補修工事、道路樹木管理、道路敷き草刈

② 対象（誰、何を対象にしているのか）

町内の道路

③ 意図（この事業で、対象をどのような状態にしたいのか）

円滑な道路通行ができる状態にすることで、町道での事故を防止し、かつ、快適な生活基盤とするために適正な道路管理を行う。

④ 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）

	名称	単位	01年度	02年度	03年度
			指標数値		
ア	道路補修箇所数	箇所	90	89	89（見込）
イ	草刈面積	㎡	57,300	54,600	60,000（見込）
ウ	樹木管理本数	本	1,600	1,560	1,560（見込）

⑤ 対象指標（対象の大きさを表す指標）

	名称	単位	01年度	02年度	03年度
ア	町道延長距離	m	159,943	156,556	156,556（見込）
イ	草刈予定面積	㎡	57,300	54,600	60,000（見込）
ウ	樹木本数	本	1,640	1,560	1560（見込）

⑥ 成果指標（対象における意図の達成度を表す指標）

	名称	単位		01年度	02年度	03年度
ア	道路の陥没等が原因の事故件数	件	目標	0	0	0
			実績	1	1	
イ	舗装・樹木・草に関する苦情件数	件	目標	0	0	0
			実績	8	9	
ウ			目標			
			実績			
エ			目標			
			実績			
オ			目標			
			実績			

(2) 総事業費の推移

事業費	財源内訳（千円）		01年度（決算値）	02年度（当初予算）	02年度（決算値）	03年度（当初予算）	04年度（計画）	05年度（計画）
	経費	国・県支出金、地方債等						
		受益者負担等	2	10	2	10		
		一般財源	107,880	104,241	105,641	123,631		
		合計（A）	107,882	104,251	105,643	123,641	0	0
		（内 会計年度任用職員人件費）						
	正職員人件費[按分]（B）		15,154	16,086	15,943	13,548		
	トータルコスト（A）＋（B）		123,036	120,337	121,586	137,189	0	0

事務事業評価表（事業実施年度：令和02年度）

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を開始したきっかけは何ですか？いつ頃どんな経緯で開始されましたか？	② 事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化していますか？	③ 事務事業に対して関係者からどんな意見や要望が寄せられていますか？（誰からの意見か明記）
道路舗装整備率の高まりと人口や交通量の増加による道路維持管理に対する要望が強くなってきたため、本事業が開始された。	本町の人口増をはじめ隣接市町の人口も増加し、通行車両の増加とともに道路の老朽化も進んでいる。さらには、本格的な舗装改良工事も財政面から先送りされる事が多いため、本事業の必要性が増大している。	舗装は応急的ではなく抜本的な整備。道路樹木は落葉処理と大がかりな剪定。草刈は迅速な対応が求められている。

(4) 昨年度の評価結果の取り組み状況調べ

昨年度の事務事業評価結果		02年度の取り組み状況と今後の方針	
事業の方向性	令和02年度の取り組み概要及び期待される効果	実施状況	実施できなかった理由と今後の方針
☐ 廃止・休止 ☐ 目的の見直し ☑ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 事務事業終了 ☐ 現状維持・継続	舗装は他事業との連携もできるため現状維持でも良いが、樹木管理と草刈については草木の繁茂状況により適宜剪定を行うため、快適な生活基盤とするには、予算がなければ成果向上は見込めない。	☑ 記述どおり実施できた（コメント必要ありません） ☐ 一部実施できた（理由→） ☐ 実施できなかった（理由→）	

2 評価（SEE）及び全体総括の部＊原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

(1) 評価		評価の理由
目的妥当性評価	① 上位施策への貢献度は大きいですか？※総合計画を参照してください ☑ 貢献度大きい（理由→） ☐ 貢献度ふつう（理由→） ☐ 貢献度小さい（理由→）	町道における事故防止と災害時等の迅速な対応ができる体制を整えておくと共に、車両や歩行者の安全かつ円滑な道路交通を図るため、各種専門業者（舗装、樹木管理、草刈）と年間業務委託契約を結び、志免町管内の町道敷きの維持管理を行うことで、快適な生活基盤としているためである。
目的妥当性評価	② 税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？ （事業の目的は、総合計画の町の役割や基本方針に合っていますか？） ☑ 妥当である（理由→） ☐ 妥当性が低い（理由→）	公衆用道路という生活基盤を対象とし、良好な道路機能を維持することを目的としているため整合性は高い。
有効性評価	③ 成果がこれ以上向上する余地（可能性）はありますか？ ☑ 成果向上余地がある （理由→） ☐ 成果向上余地がない （理由→）	専門的な知識を持った職員を配置し、修繕が必要な箇所を早期に発見して対処することや、抜本的な整備を行えば成果は確実に向上する。
有効性評価	④ 廃止・休止した場合、成果への影響はありますか？ ☑ 影響あり（理由→） ☐ 影響なし（理由→）	道路舗装の剥離や陥没、雑草による視界不良等によって交通事故が増大することは確実である。
効率性評価	⑤ 現状の成果を落とさずにコスト（予算＋事務従事時間）を削減する新たな方法はありますか？（広域連携や民間委託等の導入など） ☐ ある（具体的な内容→） ☑ ない（理由→）	本事業は、当事業を実施する上で最低限の方法であり、削減はできない。

(2) 02年度を振り返って（全体総括・反省点）

定期的な巡回を行い、舗装に関しては陥没箇所及び陥没のおそれがある箇所を早期に発見、補修工事を行うことで苦情件数は減少しているが、同じ個所を繰り返し補修することもある為、優先順位をつけて抜本的な整備を実施している。また、道路陥没は、降雨後に発生することが多く、降雨後の巡回は宇美川や内水路を先行するため、道路の巡回を併せて行うことも今後の課題としたい。予算の関係で、樹木管理及び草刈は、住民からの要望があってもすべてについて対応できないことがあり苦情の原因となった。

3 今後の方向性（03年度以降の計画と04年度予算への反映）(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性（複数選択可）	(2) 令和03年度以降に取り組む内容と期待される効果
☐ 廃止・休止（理由→） ☐ 目的の見直し（内容→） ☑ 有効性改善（成果向上）内容→ ☐ 効率性改善（コスト削減）内容→ ☐ 事業終了 ☐ 現状維持・継続	舗装は他事業との連携もできるため現状維持でも良いが、樹木管理と草刈については草木の繁茂状況により適宜剪定を行うため、快適な生活基盤とするには、予算がなければ成果向上は見込めない。

[志免町]

事務事業評価表（事業実施年度：令和02年度）

☑ 令和02年度 実施計画事業　　作成日 令和 3 年 4 月 日

事務事業	13023	道路新設改良事業	担当課	都市整備課	担当係	都市整備課係

計画体系				予算科目			
後期計画	施策	17	暮らしを支える生活基盤が整ったまちをつくる		会計	1	一般会計
					款	8	土木費
	取り組み方針	460	安全で便利な道路環境を整える		項	2	道路橋梁費
					目	3	道路新設改良費
法令根拠条例等			道路法・志免町道路管理条例	個別計画			

実施期間　☐02年度のみ　☑単年度繰返　不明 年度より開始　☐期間限定（複数年）　年度～　年度

【事業の目的・内容】（改行は、「Alt」+「Enter」で行ってください）

町内の良好な道路機能を確保するため、道路の新設や改良工事を行う。なお、それらの工事は道路の現状、住民の方々や町内会からの要望により実施している。

【業務内容（町職員の仕事内容）】（改行は、「Alt」+「Enter」で行ってください）

現地調査、施工方法の検討、設計積算及び工事発注

☐ 2次評価会議に提出します（左にチェックを入れる）

主な事業費の内訳

道路改良舗装工事	30,830 千円
志免宇美線整備事業負担金	43,666 千円
測量設計委託料	4,692 千円
	千円
	千円

1　現状把握の部（DO）

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段（主な活動）

02年度に行った主な活動（※箇条書きで記入）

・道路改良工事

② 対象（誰、何を対象にしているのか）

整備が必要な道路箇所を含む町内の道路

③ 意図（この事業で、対象をどのような状態にしたいのか）

円滑な道路交通ができる状態にするには、町内の道路施設の良好な機能を確保することであり、安全な通行、事故防止を含めた快適な道路整備を図る。

事務事業の目的

④ 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）

	名称	単位	01年度	02年度	03年度
ア	工事件数	件	3	2	7（見込）
イ					（見込）
ウ					（見込）

⑤ 対象指標（対象の大きさを表す指標）

	名称	単位	01年度	02年度	03年度
ア	町道延長距離	m	159,943	156,556	156,556（見込）
イ	工事（整備）必要箇所数	箇所	3	2	7（見込）
ウ					（見込）

⑥ 成果指標（対象における意図の達成度を表す指標）

	名称	単位		01年度	02年度	03年度
ア	工事（整備）実施箇所数	箇所	目標	4	2	7
			実績	3	2	
イ	道路に起因する事故件数	件	目標	0	0	0
			実績	1	1	
ウ	町内の道路が安全で便利に通行できると感じるか	%	目標	50.0	50.0	50.0
			実績	41.8	45.5	
エ			目標			
			実績			
オ			目標			
			実績			

(2) 総事業費の推移

事業費	財源内訳（千円）		01年度（決算値）	02年度（当初予算）	02年度（決算値）	03年度（当初予算）	04年度（計画）	05年度（計画）
	経費	国・県支出金、地方債等	33,500	62,200	45,000	51,000	51,000	51,000
		受益者負担等						
		一般財源	62,558	33,970	34,188	84,711	84,711	84,711
		合計（A）	96,058	96,170	79,188	135,711	135,711	135,711
		（内　会計年度任用職員人件費）						
	正職員人件費[按分]（B）		12,160	10,267	10,192	11,983		
	トータルコスト（A）＋（B）		108,218	106,437	89,380	147,694	135,711	135,711

事務事業評価表（事業実施年度：令和02年度）

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を開始したきっかけは何ですか？いつ頃どんな経緯で開始されましたか？	② 事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化していますか？	③ 事務事業に対して関係者からどんな意見や要望が寄せられていますか？（誰からの意見か明記）
市街化が進むにつれ、人口と交通量の増加による道路整備に対する要望が強くなってきたため、本事業が開始された。	本町の人口増をはじめ隣接市町の人口も増加し、通行車両の増加とともに道路の老朽化も進んでいる。さらには、本格的な舗装改良工事も財政面から先送りされる事が多いため、本事業の必要性が増大している。ただし、国の政策により国庫補助を受けられる可能性が増大したため、国の動向も注視することとしている。	町民より道路拡幅を含む改良工事が望まれている。

(4) 昨年度の評価結果の取り組み状況調べ

昨年度の事務事業評価結果		02年度の取り組み状況と今後の方針	
事業の方向性	令和02年度の取り組み概要及び期待される効果	実施状況	実施できなかった理由と今後の方針
☐ 廃止・休止 ☐ 目的の見直し ☑ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 事務事業終了 ☐ 現状維持・継続	財政上の問題で大規模な改良工事を実施することは難しいが、国庫補助事業および、公共施設等適正管理推進事業債（公適債）等により予算を確保し、優先順位に基づき計画的に改良工事を実施することで成果は向上する。	☑ 記述どおり実施できた（コメント必要ありません） ☐ 一部実施できた（理由→） ☐ 実施できなかった（理由→）	

2 評価（SEE）及び全体総括の部＊原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

(1) 評価		評価の理由
目的妥当性評価	① 上位施策への貢献度は大きいですか？※総合計画を参照してください ☑ 貢献度大きい（理由→） ☐ 貢献度ふつう（理由→） ☐ 貢献度小さい（理由→）	町内の良好な道路機能を確保することを目的に、道路の新設や改良工事を行い、必要な生活基盤が整った中で暮らす事ができるため。
目的妥当性評価	② 税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？ （事業の目的は、総合計画の町の役割や基本方針に合っていますか？） ☑ 妥当である（理由→） ☐ 妥当性が低い（理由→）	公衆用道路という生活基盤を対象とし、良好な道路機能を維持することを目的としているため整合性は高い。
有効性評価	③ 成果がこれ以上向上する余地（可能性）はありますか？ ☑ 成果向上余地がある （理由→） ☐ 成果向上余地がない （理由→）	財政上の問題で大規模な改良工事はできないが、国庫補助事業を含め予算確保ができれば成果は確実に向上する。
有効性評価	④ 廃止・休止した場合、成果への影響はありますか？ ☑ 影響あり（理由→） ☐ 影響なし（理由→）	現在の交通量の状況を勘案すると、管理不備による交通事故及び交通渋滞が発生する。
効率性評価	⑤ 現状の成果を落とさずにコスト（予算＋事務従事時間）を削減する新たな方法はありますか？（広域連携や民間委託等の導入など） ☐ ある（具体的な内容→） ☑ ない（理由→）	現時点では、最適工法での実施に努めている。

(2) 02年度を振り返って（全体総括・反省点）

限られた予算であるため、現場状況を十分把握して優先順位をつけ工事を実施した。引き続き、国庫補助事業の活用やコストが抑えられる工法なども検討していきたい。

3 今後の方向性（03年度以降の計画と04年度予算への反映）(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性（複数選択可）	(2) 令和03年度以降に取り組む内容と期待される効果
☐ 廃止・休止（理由→） ☐ 目的の見直し（内容→） ☑ 有効性改善（成果向上）内容→ ☐ 効率性改善（コスト削減）内容→ ☐ 事業終了 ☐ 現状維持・継続	財政上の問題で大規模な改良工事を実施することは難しいが、国庫補助事業および、公共施設等適正管理推進事業債（公適債）等により予算を確保し、優先順位に基づき計画的に改良工事を実施することで成果は向上する。

[志免町]

事務事業評価表（事業実施年度：令和02年度）

☐ 令和02年度 実施計画事業　　作成日 令和 3 年 4 月 日

事務事業	13025	橋梁維持管理事業	担当課	都市整備課	担当係	都市整備係

計画体系				予算科目			
後期計画	施策	17	暮らしを支える生活基盤が整ったまちをつくる		会計	1	一般会計
					款	8	土木費
	取り組み方針	460	安全で便利な道路環境を整える		項	2	道路橋梁費
					目	4	橋梁維持費
法令根拠条例等				個別計画			

実施期間　☐02年度のみ　☑単年度繰返　H22 年度より開始　☐期間限定（複数年）　年度～　年度

【事業の目的・内容】（改行は、「Alt」+「Enter」で行ってください）

必要な生活基盤である橋梁を常に通行出来る事を目的として、事故防止・災害時等の迅速な対応ができる体制の整備、車輌や歩行者の安全かつ円滑な交通を図るため、点検を含む維持管理を行っている。

【業務内容(町職員の仕事内容)】（改行は、「Alt」+「Enter」で行ってください）

職員による日常パトロールと委託業者による定期点検を行い、修繕が必要な箇所があれば修繕している。
また、国庫補助事業を利用し、委託している為、申請事務を行っている。

☐ 2次評価会議に提出します（左にチェックを入れる）

主な事業費の内訳

橋梁補修工事	9,910 千円
橋梁長寿命化調査委託料	5,240 千円
測量設計委託料	3,300 千円
	千円
	千円

1 現状把握の部（DO）

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段（主な活動）

02年度に行った主な活動（※箇条書きで記入）

老朽化対策設計・工事
パトロール

② 対象（誰、何を対象にしているのか）

町内の橋梁

③ 意図（この事業で、対象をどのような状態にしたいのか）

事故防止のために適正な橋梁維持管理を行う。

事務事業の目的

④ 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）

	名称	単位	01年度	02年度	03年度
			指標数値		
ア	老朽化対策設計数	橋	0	1	0（見込）
イ	老朽化対策工事数	件	0	0	2（見込）
ウ	パトロール回数	回	12	12	12（見込）

⑤ 対象指標（対象の大きさを表す指標）

	名称	単位	01年度	02年度	03年度
ア	橋梁数	橋	87	87	87（見込）
イ					（見込）
ウ					（見込）

⑥ 成果指標（対象における意図の達成度を表す指標）

	名称	単位		01年度	02年度	03年度
ア	点検済みの割合(5年サイクルで実施)	%	目標	4.6	22.0	100.0
			実績	9.0	22.0	
イ	老朽化対策設計済みの割合	%	目標	40.0	50.0	50.0
			実績	40.0	50.0	
ウ	老朽化対策工事済みの割合	%	目標	30.0	10.0	10.0
			実績	30.0	10.0	
エ			目標			
			実績			
オ			目標			
			実績			

(2) 総事業費の推移

事業費	財源内訳（千円）		01年度（決算値）	02年度（当初予算）	02年度（決算値）	03年度（当初予算）	04年度（計画）	05年度（計画）
	経費	国・県支出金、地方債等	1,650	4,400	4,400	13,475		
		受益者負担等						
		一般財源	1,830	14,030	14,050	11,225		
		合計（A）	3,480	18,430	18,450	24,700	0	0
		（内 会計年度任用職員人件費）						
	正職員人件費[按分]（B）		3,906	4,816	4,674	2,820		
	トータルコスト（A）＋（B）		7,386	23,246	23,124	27,520	0	0

事務事業評価表（事業実施年度：令和02年度）

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を開始したきっかけは何ですか？いつ頃どんな経緯で開始されましたか？	② 事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化していますか？	③ 事務事業に対して関係者からどんな意見や要望が寄せられていますか？（誰からの意見か明記）
町内の橋梁は老朽化が急速に進んでいる。このような背景から、今後増大が見込まれる橋梁の修繕・架替えに要する経費のコスト縮減を図るため、点検を含む維持管理業務を行い、橋梁の長寿命化を図り道路網の安全性・信頼性を確保する。	日本全土で橋梁維持管理の重要性がクローズアップされている。	国や県等より橋梁老朽化対策等を進めるように指示あり。

(4) 昨年度の評価結果の取り組み状況調べ

昨年度の事務事業評価結果		02年度の取り組み状況と今後の方針	
事業の方向性	令和02年度の取り組み概要及び期待される効果	実施状況	実施できなかった理由と今後の方針
☐ 廃止・休止 ☐ 目的の見直し ☑ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 事務事業終了 ☐ 現状維持・継続	平成30年度に策定した個別施設計画に従い老朽化対策を進める為、成果向上余地がある。	☑ 記述どおり実施できた （コメント必要ありません） ☐ 一部実施できた（理由→） ☐ 実施できなかった（理由→）	

2 評価（SEE）及び全体総括の部＊原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

(1) 評価		評価の理由
目的妥当性評価	① 上位施策への貢献度は大きいですか？※総合計画を参照してください ☑ 貢献度大きい（理由→） ☐ 貢献度ふつう（理由→） ☐ 貢献度小さい（理由→）	事故防止と災害時等の迅速な対応ができる体制を整えておくと共に、車輌や歩行者の安全かつ円滑な交通を図るため、点検を含む維持管理を行うことで、必要な生活基盤が整った中で暮らすことができるため。
目的妥当性評価	② 税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？ （事業の目的は、総合計画の町の役割や基本方針に合っていますか？） ☑ 妥当である（理由→） ☐ 妥当性が低い（理由→）	公共の道路橋梁という生活基盤の整備・改良は、総合計画にも行政の役割に位置づけられるため。
有効性評価	③ 成果がこれ以上向上する余地（可能性）はありますか？ ☑ 成果向上余地がある （理由→） ☐ 成果向上余地がない （理由→）	平成30年度に策定した個別施設計画に従い老朽化対策を進める為、成果向上余地がある。
有効性評価	④ 廃止・休止した場合、成果への影響はありますか？ ☑ 影響あり（理由→） ☐ 影響なし（理由→）	生活基盤である道路橋梁が、安全に通行出来なくなる為。
効率性評価	⑤ 現状の成果を落とさずにコスト（予算＋事務従事時間）を削減する新たな方法はありますか？（広域連携や民間委託等の導入など） ☐ ある（具体的な内容→） ☑ ない（理由→）	専門知識を持った業者に業務委託を行うことで、最小の事務量で済ませている。また、委託業者の選定については入札により行っているため削減の余地はない。

(2) 02年度を振り返って（全体総括・反省点）

国庫補助事業による橋梁定期点検を行った。橋梁維持の重要性を再認識し、計画の推進に努めていきたい。

3 今後の方向性（03年度以降の計画と04年度予算への反映）(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性（複数選択可）	(2) 令和03年度以降に取り組む内容と期待される効果
☐ 廃止・休止（理由→） ☐ 目的の見直し（内容→） ☑ 有効性改善（成果向上）内容→ ☐ 効率性改善（コスト削減）内容→ ☐ 事業終了 ☐ 現状維持・継続	平成30年度に策定した個別施設計画に従い老朽化対策を進める為、成果向上余地がある。

[志免町]

事務事業評価表（事業実施年度：令和02年度）

☑ 令和02年度 実施計画事業　　作成日 令和 3 年 4 月 日

事務事業	13026	交通安全施設整備・維持管理事業	担当課	都市整備課	担当係	都市整備課係

後期計画体系				予算科目			
計画	施策	17	暮らしを支える生活基盤が整ったまちをつくる		会計	1	一般会計
					款	8	土木費
	取り組み方針	460	安全で便利な道路環境を整える		項	2	道路橋梁費
					目	6	交通安全施設整備
法令根拠条例等				個別計画			

実施期間　☐02年度のみ　☑単年度繰返　S58 年度より開始　☐期間限定（複数年）　年度～　年度

【事業の目的・内容】（改行は、「Alt」+「Enter」で行ってください）

歩行者、自転車及び自動車の安全確保、交通事故防止のために町道について交通安全施設（ガードレール、カーブミラー、区画線、横断防止柵、車止め、道路照明等）の整備を行う。

【業務内容（町職員の仕事内容）】（改行は、「Alt」+「Enter」で行ってください）

工事箇所は地元からの要望や道路パトロールによって決定し、それをもとに職員は交通安全施設の整備を行うための設計積算等を行い、業者に発注している。

☐ 2次評価会議に提出します（左にチェックを入れる）

主な事業費の内訳

交通安全施設工事	34,195 千円
電気・ガス料	5,397 千円
施設修繕料	901 千円
	千円
	千円

1 現状把握の部（DO）

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段（主な活動）

02年度に行った主な活動（※箇条書きで記入）

道路パトロール等を行い、それをもとに交通安全施設の整備行うための設計積算等を行い、業者に発注している。

② 対象（誰、何を対象にしているのか）

志免町全域の町道に設置されている交通安全施設

③ 意図（この事業で、対象をどのような状態にしたいのか）

危険箇所の整備・補修を行い、道路交通の安全性を高める。

事務事業の目的

④ 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）

	名称	単位	01年度	02年度	03年度
			指標数値		
ア	道路転落等危険箇所対策箇所数	箇所	1	7	4（見込）
イ	交通安全プログラム対策箇所数	箇所	14	4	19（見込）
ウ					（見込）

⑤ 対象指標（対象の大きさを表す指標）

	名称	単位	01年度	02年度	03年度
ア	道路転落等危険箇所対象箇所数	箇所	181	181	181（見込）
イ	交通安全プログラム対象箇所数	箇所	19	23	23（見込）
ウ					（見込）

⑥ 成果指標（対象における意図の達成度を表す指標）

	名称	単位		01年度	02年度	03年度
ア	町民意識調査（町内の道路が安全で便利に通行できると感じるか）	%	目標	50	50	50
			実績	41.8	45.5	
イ	道路転落等危険箇所対策率	%	目標	−	−	54.7
			実績	48.6	52.5	
ウ	交通安全プログラム対策率	%	目標	−	−	100
			実績	73.7	17.4	
エ			目標			
			実績			
オ			目標			
			実績			

(2) 総事業費の推移

事業費	財源内訳（千円）		01年度（決算値）	02年度（当初予算）	02年度（決算値）	03年度（当初予算）	04年度（計画）	05年度（計画）
	経費	国・県支出金、地方債等	9,928	11,000	10,669	20,200	20,200	20,200
		受益者負担等	4,000					
		一般財源	28,948	30,500	29,823	22,000	22,000	22,000
		合計（A）	42,876	41,500	40,492	42,200	42,200	42,200
		（内 会計年度任用職員人件費）						
	正職員人件費[按分]（B）		3,906	5,599	5,518	5,329		
	トータルコスト（A）＋（B）		46,782	47,099	46,010	47,529	42,200	42,200

事務事業評価表（事業実施年度：令和02年度）

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を開始したきっかけは何ですか？いつ頃どんな経緯で開始されましたか？	② 事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化していますか？	③ 事務事業に対して関係者からどんな意見や要望が寄せられていますか？（誰からの意見か明記）
交通量の増加、交通事故を撲滅するため、交通安全特別交付金が昭和58年から交付されるようになったことによる。	近年における通学路での事故を受けて、通学路における安全対策の要望が増加している。また、主要道路以外の生活道路等において、自動車に対するスピード抑制の対策の要望が増加している。	毎年次のような要望が町内会等から寄せられている。 ・見通しの悪い交差点に新規カーブミラーの設置 ・自動車のスピード抑制 ・歩行者の安全対策

(4) 昨年度の評価結果の取り組み状況調べ

昨年度の事務事業評価結果		02年度の取り組み状況と今後の方針	
事業の方向性	令和02年度の取り組み概要及び期待される効果	実施状況	実施できなかった理由と今後の方針
☐ 廃止・休止 ☐ 目的の見直し ☑ 有効性改善 ☑ 効率性改善 ☐ 事務事業終了 ☐ 現状維持・継続	道路転落等危険箇所対策事業、通学路交通安全プログラム、未就学児が日常的に集団移動する経路等の交通安全確保における緊急安全点検、道路照明健全度調査に基づき、優先度に応じて効率的な対策を実施する。プログラムに基づき関係機関（学校、PTA、粕屋警察署、県土整備事務所等）との連携を図り、成果向上に取り組む。	☑ 記述どおり実施できた（コメント必要ありません） ☐ 一部実施できた（理由→） ☐ 実施できなかった（理由→）	

2 評価（SEE）及び全体総括の部 ＊原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

(1) 評価		評価の理由
目的妥当性評価	① 上位施策への貢献度は大きいですか？※総合計画を参照してください ☑ 貢献度大きい（理由→） ☐ 貢献度ふつう（理由→） ☐ 貢献度小さい（理由→）	安全で快適に暮らせる町をつくるために、交通安全施設の整備を行い、交通ルールを守る環境をつくることが必要であると考える。
目的妥当性評価	② 税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？（事業の目的は、総合計画の町の役割や基本方針に合っていますか？） ☑ 妥当である（理由→） ☐ 妥当性が低い（理由→）	公共の道路における交通安全施設の整備であり、町が実施すべき事業である。
有効性評価	③ 成果がこれ以上向上する余地（可能性）はありますか？ ☑ 成果向上余地がある （理由→） ☐ 成果向上余地がない （理由→）	交通安全プログラムの優先度に基づき、計画的に対策を実施することで道路交通の安全性を高めることができる。
有効性評価	④ 廃止・休止した場合、成果への影響はありますか？ ☑ 影響あり（理由→） ☐ 影響なし（理由→）	交通安全の確保が困難になり、交通事故や交通違反が増加する。
効率性評価	⑤ 現状の成果を落とさずにコスト（予算＋事務従事時間）を削減する新たな方法はありますか？（広域連携や民間委託等の導入など） ☑ ある（具体的な内容→） ☐ ない（理由→）	道路照明の建替が必要になった箇所についてはLEDに交換していき、電気料金や維持管理の削減に取り組む。

(2) 02年度を振り返って（全体総括・反省点）

交通安全プログラムや道路転落等危険箇所対策計画等に基づき、優先度に応じて効率的な対策を実施することができた。

3 今後の方向性（03年度以降の計画と04年度予算への反映）(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性（複数選択可）	(2) 令和03年度以降に取り組む内容と期待される効果
☐ 廃止・休止（理由→） ☐ 目的の見直し（内容→） ☑ 有効性改善（成果向上）内容→ ☐ 効率性改善（コスト削減）内容→ ☐ 事業終了 ☐ 現状維持・継続	交通安全プログラム、道路転落等危険箇所対策計画および道路照明健全度調査に基づき、優先度に応じて効率的な対策を実施する。また、プログラムに基づき関係機関（学校、PTA、粕屋警察署、県土整備事務所等）との連携を図り、成果向上に取り組む。

[志免町]

事務事業評価表（事業実施年度：令和02年度）

☐ 令和02年度 実施計画事業　　作成日 令和 3 年 4 月 20 日

事務事業	13028	都市計画道路志免・宇美線建設事業	担当課	都市整備課	担当係	都市整備係

計画体系				予算科目			
後期計画	施策	17	暮らしを支える生活基盤が整ったまちをつくる		会計		
					款		
	取り組み方針	460	安全で便利な道路環境を整える		項		
					目		
法令根拠条例等				個別計画			
実施期間	☐02年度のみ	☐単年度繰返	年度より開始	☑期間限定（複数年）	H25 年度～ R8 年度		

【事業の目的・内容】（改行は、「Alt」+「Enter」で行ってください）

本事業は、都市計画道路志免・宇美線建設事業である。志免・宇美線は、幅員25mで志免町と宇美町を結ぶ都市計画道路であり、①県道福岡・大宰府線（68号線）の慢性的な渋滞、一極集中が無くなることを目的としたバイパス機能を持つ道路として、②県道福岡・大宰府線は歩道が無い区間も多く交通安全の対策として、③周辺住民を含み回遊性、利便性など生活環境が向上し、④交通量、渋滞が減少することによる所要時間の短縮等による陸上輸送力の増強による地域経済の発展、⑤救急、緊急車輌の移動時間の短縮による人命救助の迅速化、⑥観光事業の発展等を目的として事業を行うものである。なお、県営事業のため事業主体は福岡県であり、志免町は負担金の負担がある。負担金額は、事業の進捗に応じた額となる。

【業務内容（町職員の仕事内容）】（改行は、「Alt」+「Enter」で行ってください）

〇事業主体は福岡県
平成25年度　事業認可計画書の作成、福岡県との各種協議、現地踏査。
平成26年度～令和8年度　実施設計、用地買収、建設事業
（事業施行期間　平成29年8月29日～令和9年3月31日（平成29年8月29日事業認可））

☐ 2次評価会議に提出します（左にチェックを入れる）

主な事業費の内訳

	千円
	千円
	千円
	千円
	千円

1　現状把握の部（DO）

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段（主な活動）

02年度に行った主な活動（※箇条書きで記入）

・志免宇美線調整会議（県、志免町、宇美町）
・付随業務委託

② 対象（誰、何を対象にしているのか）

道路利用者

③ 意図（この事業で、対象をどのような状態にしたいのか）

県道福岡・大宰府線のバイパス路線機能の確保。

④ 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）

	名称	単位	01年度	02年度	03年度
			指標数値		
ア	県との各種協議	回	10	10	10（見込）
イ	現地踏査	回	2	6	2（見込）
ウ	付随業務委託件数	件	2	8	8（見込）

⑤ 対象指標（対象の大きさを表す指標）

	名称	単位	01年度	02年度	03年度
ア	車両通行台数（大的交差点）（平日）	台/12h	25,000	25,000	25000（見込）
イ	車両通行台数（大的交差点）（休日）	台/12h	24,000	24,000	24000（見込）
ウ	車両通行台数（田富下深交差点）（平日）	台/12h	19,000	19,000	19000（見込）

⑥ 成果指標（対象における意図の達成度を表す指標）

	名称	単位		01年度	02年度	03年度
ア	志免宇美線事業進捗状況	%	目標	30.0	40.0	45.0
			実績	30.0	40.0	
イ	短縮時間	分	目標	0	0	0
			実績	0	0	
ウ			目標			
			実績			
エ			目標			
			実績			
オ			目標			
			実績			

(2) 総事業費の推移

事業費	財源内訳（千円）		01年度（決算値）	02年度（当初予算）	02年度（決算値）	03年度（当初予算）	04年度（計画）	05年度（計画）
	経費	国・県支出金、地方債等						
		受益者負担等						
		一般財源						
		合計（A）	0	0	0	0	0	0
		（内　会計年度任用職員人件費）						
	正職員人件費[按分]（B）		14,627	13,221	13,031	13,703		
	トータルコスト（A）＋（B）		14,627	13,221	13,031	13,703	0	0

事務事業評価表（事業実施年度：令和02年度）

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を開始したきっかけは何ですか？いつ頃どんな経緯で開始されましたか？	② 事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化していますか？	③ 事務事業に対して関係者からどんな意見や要望が寄せられていますか？（誰からの意見か明記）
本路線は、都市計画道路であり宇美町内の工区も完成に近づいたことから、志免町内の次期工区について事業の実施が必要となったため。	県道68号線において、慢性的な渋滞を改善させ、歩行者の安全と良好な沿道環境を確保することに加え、災害時の緊急事態に対応できる道路網整備のニーズが高まっている。	地域住民においても交通事情の改善について非常にニーズが高い。

(4) 昨年度の評価結果の取り組み状況調べ

昨年度の事務事業評価結果		02年度の取り組み状況と今後の方針	
事業の方向性	令和02年度の取り組み概要及び期待される効果	実施状況	実施できなかった理由と今後の方針
☐廃止・休止 ☐目的の見直し ☑有効性改善 ☐効率性改善 ☐事務事業終了 ☐現状維持・継続	福岡県事業であるため、引き続き県と協力し事業の推進に努めることで成果は向上する。	☑記述どおり実施できた （コメント必要ありません） ☐一部実施できた（理由→） ☐実施できなかった（理由→）	

2 評価（SEE）及び全体総括の部＊原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

(1) 評価		評価の理由
目的妥当性評価	① 上位施策への貢献度は大きいですか？※総合計画を参照してください ☑貢献度大きい（理由→） ☐貢献度ふつう（理由→） ☐貢献度小さい（理由→）	第5次志免町総合計画後期基本計画において戦略プロジェクトにも指定されており、貢献度は大きい。
目的妥当性評価	② 税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？ （事業の目的は、総合計画の町の役割や基本方針に合っていますか？） ☑妥当である（理由→） ☐妥当性が低い（理由→）	国の補助金を活用して実施する県事業であり、より良い交通環境の整備を目的としているため、妥当である。
有効性評価	③ 成果がこれ以上向上する余地（可能性）はありますか？ ☑成果向上余地がある （理由→） ☐成果向上余地がない （理由→）	関係機関と綿密な協議を行い連携し協力することで成果は向上する。
有効性評価	④ 廃止・休止した場合、成果への影響はありますか？ ☑影響あり（理由→） ☐影響なし（理由→）	一部供用開始区間があり廃止することはできない。
効率性評価	⑤ 現状の成果を落とさずにコスト（予算＋事務従事時間）を削減する新たな方法はありますか？（広域連携や民間委託等の導入など） ☐ある（具体的な内容→） ☑ない（理由→）	福岡県事業であり認可事業でもあるため、規模の縮小や計画の変更以外の方法では削減できない。

(2) 02年度を振り返って（全体総括・反省点）

令和2年度は、元年度に引き続き用地買収に伴う用地測量、補償調査等を行っている。早期完成に向けて、引き続き福岡県と連携し事業の推進に努める。

3 今後の方向性（03年度以降の計画と04年度予算への反映）(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性（複数選択可）	(2) 令和03年度以降に取り組む内容と期待される効果
☐廃止・休止（理由→） ☐目的の見直し（内容→） ☑有効性改善（成果向上）内容→ ☐効率性改善（コスト削減）内容→ ☐事業終了 ☐現状維持・継続	福岡県事業であるため、引き続き県と協力し事業の推進に努めることで成果は向上する。

[志免町]

事務事業評価表（事業実施年度：令和02年度）

☑ 令和02年度 実施計画事業　　作成日 令和 3 年 4 月 16 日

事務事業	13030	都市計画事務	担当課	都市整備課	担当係	都市計画係

計画体系				予算科目			
後期計画	施策	17	暮らしを支える生活基盤が整ったまちをつくる	会計	1	一般会計
				款	8	土木費
	取り組み方針	470	都市計画に基づいた土地利用を進める	項	5	都市計画費
				目	1	都市計画総務費
法令根拠条例等		都市計画法		個別計画		志免町都市計画マスタープラン
実施期間	☐02年度のみ	☑単年度繰返	S45 年度より開始	☐期間限定（複数年）		年度～ 年度

【事業の目的・内容】（改行は、「Alt」+「Enter」で行ってください）
都市計画全般に関すること。農業との健全な調和を図りながら健康で文化的な都市生活・機能的な都市活動を確保するため、適正な制限をかけて土地の合理的な利用を図る。

【業務内容（町職員の仕事内容）】（改行は、「Alt」+「Enter」で行ってください）
都市計画マスタープランの推進。都市計画に関する企画及び計画書の策定。都市計画に関する情報収集と活用。都市計画に関して関係行政機関との協議、調整。都市計画図の管理、販売。都市計画に関する法的制限の指導。都市計画に関する申請届出処理。都市計画に関する法定手続き事務。

☐ 2次評価会議に提出します（左にチェックを入れる）

主な事業費の内訳

都市計画業務委託料	495 千円
都市計画協会負担金	156 千円
消耗品費	31 千円
	千円
	千円

1 現状把握の部（DO）

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段（主な活動）

02年度に行った主な活動（※箇条書きで記入）

・都市計画に関する企画及び計画書の策定。
・都市計画に関する調書の作成。
・都市計画図の管理、販売。
・都市計画に関する法定手続き事務。
・都市計画審議会運営事務（未開催）

事務事業の目的

② 対象（誰、何を対象にしているのか）

志免町全域

③ 意図（この事業で、対象をどのような状態にしたいのか）

安全で安心して暮らせる快適な居住都市が形成される。
都市計画マスタープランに基づき計画的に整備される。

④ 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）

	名称	単位	01年度	02年度	03年度
ア	都市計画に関する企画及び計画書の策定件数	件	0	0	1（見込）
イ	都市計画に関する調書の作成件数	件	1	1	1（見込）
ウ	都市計画図の販売枚数	枚	19	14	20（見込）

⑤ 対象指標（対象の大きさを表す指標）

	名称	単位	01年度	02年度	03年度
ア	町面積	ha	869	869	869（見込）
イ					（見込）
ウ					（見込）

⑥ 成果指標（対象における意図の達成度を表す指標）

	名称	単位		01年度	02年度	03年度
ア	市街化調整区域の市街地形成面積	ha	目標	0	0	0
			実績	0	0	
イ	既成市街地用途転換面積	ha	目標	0	0	1.1
			実績	0	0	
ウ			目標			
			実績			
エ			目標			
			実績			
オ			目標			
			実績			

(2) 総事業費の推移

事業費	財源内訳（千円）		01年度（決算値）	02年度（当初予算）	02年度（決算値）	03年度（当初予算）	04年度（計画）	05年度（計画）
	経費	国・県支出金、地方債等						
		受益者負担等						
		一般財源	184	1,057	688	5,557	937	937
		合計（A）	184	1,057	688	5,557	937	937
		（内 会計年度任用職員人件費）						
	正職員人件費[按分]（B）		7,955	6,603	6,902	6,189		
	トータルコスト（A）＋（B）		8,139	7,660	7,590	11,746	937	937

事務事業評価表（事業実施年度：令和02年度）

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を開始したきっかけは何ですか？いつ頃どんな経緯で開始されましたか？	② 事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化していますか？	③ 事務事業に対して関係者からどんな意見や要望が寄せられていますか？（誰からの意見か明記）
都市の健全な発展と秩序ある整備を図るため、昭和43年に都市計画法が施行された。	特に変化はしていない。	住民から市街化調整区域の地区計画を策定と、用途地域変更の要望が寄せられている。

(4) 昨年度の評価結果の取り組み状況調べ

昨年度の事務事業評価結果		02年度の取り組み状況と今後の方針	
事業の方向性	令和02年度の取り組み概要及び期待される効果	実施状況	実施できなかった理由と今後の方針
☐ 廃止・休止 ☐ 目的の見直し ☑ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 事務事業終了 ☐ 現状維持・継続	市街化調整区域における健全な土地利用は、今後予定される都市計画道路の事業進捗も相まって本町都市計画の課題である。そのため、「市街化調整区域における地区計画運用基準」等を引き続き周知することで、住民によるまちづくりを促進するとともに、土地区画整理事業等の制度に関する職員の知識向上に努めていく。 また、令和2年度、3年度は都市計画マスタープラン中間見直しの年度にあたるため、線引き見直しや用途地域の変更等を含め、継続して検討していく。	☑ 記述どおり実施できた （コメント必要ありません） ☐ 一部実施できた（理由→） ☐ 実施できなかった（理由→）	

2 評価（SEE）及び全体総括の部 ＊原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

(1) 評価		評価の理由
目的妥当性評価	① 上位施策への貢献度は大きいですか？※総合計画を参照してください ☑ 貢献度大きい（理由→） ☐ 貢献度ふつう（理由→） ☐ 貢献度小さい（理由→）	都市計画法に基づく法定事務であり、計画的な土地利用の推進への貢献度は大きい。
目的妥当性評価	② 税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？ （事業の目的は、総合計画の町の役割や基本方針に合っていますか？） ☑ 妥当である（理由→） ☐ 妥当性が低い（理由→）	町が策定する都市計画マスタープランや都市計画決定された用途地域などにより、計画的な土地利用を促進するものであり、町の役割や基本方針と合っている。
有効性評価	③ 成果がこれ以上向上する余地（可能性）はありますか？ ☑ 成果向上余地がある （理由→） ☐ 成果向上余地がない （理由→）	都市計画マスタープランに沿った形で線引き見直しや用途地域の変更が行われることにより、成果が向上する余地がある。
有効性評価	④ 廃止・休止した場合、成果への影響はありますか？ ☑ 影響あり（理由→） ☐ 影響なし（理由→）	法定事務であり、廃止・休止できない。廃止した場合、計画的な土地利用ができなくなる。
効率性評価	⑤ 現状の成果を落とさずにコスト（予算＋事務従事時間）を削減する新たな方法はありますか？（広域連携や民間委託等の導入など） ☐ ある（具体的な内容→） ☑ ない（理由→）	現在の予算・事務従事時間は必要最低限であり、削減の余地はない。

(2) 02年度を振り返って（全体総括・反省点）

住民からの要望を受け、市街化調整区域の方針と、用途地域の変更について検討を行った。

3 今後の方向性（03年度以降の計画と04年度予算への反映）(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性（複数選択可）	(2) 令和03年度以降に取り組む内容と期待される効果
☐ 廃止・休止（理由→） ☐ 目的の見直し（内容→） ☑ 有効性改善（成果向上）内容→ ☐ 効率性改善（コスト削減）内容→ ☐ 事業終了 ☐ 現状維持・継続	市街化調整区域において、市街地整備するにふさわしい場所であるか地区ごとの分析と、地区計画作成の際の運用基準の見直しを行うことで、計画的な整備を図るための土台づくりを行う。 用途地域変更の住民意向が強い地区については、地権者等の意向を調査し把握したうえで、方針の決定を行う。

[志免町]

事務事業評価表（事業実施年度：令和02年度）

☑ 令和02年度 実施計画事業　　作成日 令和 3 年 4 月 日

事務事業	13036	公園管理事業	担当課	都市整備課	担当係	都市整備係

計画体系				予算科目			
後期計画	施策	17	暮らしを支える生活基盤が整ったまちをつくる	会計	1	一般会計
				款	8	土木費
	取り組み方針	490	町民の憩いの場となる公園を維持管理する	項	5	都市計画費
				目	2	公園管理費
法令根拠条例等				個別計画		

実施期間　☐02年度のみ　☑単年度繰返　不明 年度より開始　☐期間限定（複数年）　年度～　年度

【事業の目的・内容】（改行は、「Alt」+「Enter」で行ってください）

年間管理を通じ、公園内の樹木管理（草刈、消毒、剪定、刈り込み等）、公園内清掃、施設の修繕、遊具の点検・補修等を行う。

【業務内容（町職員の仕事内容）】（改行は、「Alt」+「Enter」で行ってください）

管理委託業務設計書と各種工事の設計書を作成し、それをもとに植栽管理・清掃・施設の修繕・遊具の点検補修等の業務ごとに委託業者の入札を行う。植栽管理を行う委託業者との契約は町内を4工区に分割し、それぞれの工区ごとに入札を行い業者の選定をする。また契約を行った委託管理業者への指示監督や苦情・要望等の処理や業者への支払事務等がある。急に修繕が必要となった設備については、そのつど業者と契約し修繕を行う。

☐ 2次評価会議に提出します（左にチェックを入れる）

主な事業費の内訳

公園緑地管理委託料	52,472 千円
除草・清掃委託料	38,214 千円
土地借上料	20,036 千円
公園管理工事	41,999 千円
公園管理委託料	11,199 千円

1 現状把握の部（DO）

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段（主な活動）

02年度に行った主な活動（※箇条書きで記入）

・公園植栽樹木を4工区に分けて業務委託により管理する。
・公園内の清掃を、業務委託により定期的に行う。
・遊具についても業務委託し巡回点検後、報告書より緊急度を考慮し、順次補修を行う。

事務事業の目的

② 対象（誰、何を対象にしているのか）

町内全域の公園施設、町民

③ 意図（この事業で、対象をどのような状態にしたいのか）

公園広場を安全で快適に利用できる。

④ 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）

	名称	単位	01年度	02年度	03年度
			指標数値		
ア	樹木の伐採・剪定数	本	6,422	6,531	6,531（見込）
イ	遊具の修繕箇所	箇所	19	22	20（見込）
ウ	公園内清掃日数	日	357	356	356（見込）

⑤ 対象指標（対象の大きさを表す指標）

	名称	単位	01年度	02年度	03年度
ア	都市公園数	箇所	44	43	43（見込）
イ	その他公園数	箇所	27	27	27（見込）
ウ	人口	人	46,255	46,407	46,500（見込）

⑥ 成果指標（対象における意図の達成度を表す指標）

	名称	単位		01年度	02年度	03年度
ア	公園利用者の事故件数	件	目標	0	0	0
			実績	0	0	
イ	公園遊具の要補修診断件数	件	目標	0	0	0
			実績	15	56	
ウ	公園遊具修繕対応率	%	目標	－	100	100
			実績	－	37.5	
エ			目標			
			実績			
オ			目標			
			実績			

(2) 総事業費の推移

事業費	財源内訳（千円）		01年度（決算値）	02年度（当初予算）	02年度（決算値）	03年度（当初予算）	04年度（計画）	05年度（計画）
	経費	国・県支出金、地方債等			398	563		
		受益者負担等	15,000	15,000	10,119	50,437	22,000	22,000
		一般財源	166,215	186,225	178,683	177,466	177,466	177,466
		合計（A）	181,215	201,225	189,200	228,466	199,466	199,466
		（内 会計年度任用職員人件費）				13,503		
	正職員人件費[按分]（B）		8,782	12,290	12,114	8,459		
	トータルコスト（A）＋（B）		189,997	213,515	201,314	236,925	199,466	199,466

事務事業評価表（事業実施年度：令和02年度）

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を開始したきっかけは何ですか？いつ頃どんな経緯で開始されましたか？	② 事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化していますか？	③ 事務事業に対して関係者からどんな意見や要望が寄せられていますか？（誰からの意見か明記）
多くの都市公園等が整備され、それに伴い維持管理が必要なため。	施設の老巧化や樹木の成長が見られる。	町民から、公園施設（遊具・外柵等）の老巧化に伴う苦情や改善要望、又、樹木の成長による落葉の増加や日照不足の苦情も出ている。

(4) 昨年度の評価結果の取り組み状況調べ

昨年度の事務事業評価結果		02年度の取り組み状況と今後の方針	
事業の方向性	令和02年度の取り組み概要及び期待される効果	実施状況	実施できなかった理由と今後の方針
☐ 廃止・休止 ☐ 目的の見直し ☑ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 事務事業終了 ☐ 現状維持・継続	樹木の剪定や寄植を低く刈り込むなどにより見通しを良くしたり、景観を良くすることができる。また、遊具のほか照明灯やベンチなどの施設も老巧化してきており、遊具点検結果や日常点検より優先順位をつけ補修や新設することにより成果を向上させる事ができる。	☑ 記述どおり実施できた（コメント必要ありません） ☐ 一部実施できた（理由→） ☐ 実施できなかった（理由→）	

2 評価（SEE）及び全体総括の部＊原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

(1) 評価		評価の理由
目的妥当性評価	① 上位施策への貢献度は大きいですか？※総合計画を参照してください ☑ 貢献度大きい（理由→） ☐ 貢献度ふつう（理由→） ☐ 貢献度小さい（理由→）	公園を維持管理することで良好な生活環境及び快適な生活基盤の整備 が確保できる。
目的妥当性評価	② 税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？ （事業の目的は、総合計画の町の役割や基本方針に合っていますか？） ☑ 妥当である（理由→） ☐ 妥当性が低い（理由→）	生活基盤の整備・改良を行うとともに適切に維持管理するのは行政の役割であるため妥当。
有効性評価	③ 成果がこれ以上向上する余地（可能性）はありますか？ ☑ 成果向上余地がある （理由→） ☐ 成果向上余地がない （理由→）	樹木を間引きしたり、植え込みを低く刈り込むなどにより防犯上の観点から死角をなくすことや景観を良くすることができる。また、遊具などの公園施設も老巧化してきており、点検結果から優先順位をつけ補修や新設することにより成果を向上させる事ができる。
有効性評価	④ 廃止・休止した場合、成果への影響はありますか？ ☑ 影響あり（理由→） ☐ 影響なし（理由→）	良好な公園環境を保つためには廃止できない。
効率性評価	⑤ 現状の成果を落とさずにコスト（予算＋事務従事時間）を削減する新たな方法はありますか？（広域連携や民間委託等の導入など） ☐ ある（具体的な内容→） ☑ ない（理由→）	樹木の間引きなどで管理本数が減っていっているものの、樹木も成長し、施設の老巧化も進行しているので施設にかける事務は増加していくものと思われる。

(2) 02年度を振り返って（全体総括・反省点）

設置からかなりの年数が経過した公園も多く、各公園において施設の老朽化が顕著となってきており、遊具のみならずトイレやベンチ、照明灯などの公園施設の修繕を行った。また、樹木管理においても防犯上の観点から樹木の間引きや強剪定、寄植を低く刈り込むなどを行った。施設の老朽化などは、事故防止のため委託による安全点検や日常点検などで早期に発見することを今後も心がけたい。

3 今後の方向性（03年度以降の計画と04年度予算への反映）(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性（複数選択可）	(2) 令和03年度以降に取り組む内容と期待される効果
☐ 廃止・休止（理由→） ☐ 目的の見直し（内容→） ☑ 有効性改善（成果向上）内容→ ☐ 効率性改善（コスト削減）内容→ ☐ 事業終了 ☐ 現状維持・継続	樹木の剪定や寄植を低く刈り込むなどにより見通しを良くしたり、景観を良くすることができる。また、遊具のほか照明灯やベンチなどの施設も老巧化してきており、遊具点検結果や日常点検より優先順位をつけ補修や新設することにより成果を向上させる事ができる。

[志免町]

事務事業評価表（事業実施年度：令和02年度）

☐ 令和02年度 実施計画事業　　作成日 令和 3 年 4 月 日

事務事業	13038	下水排水路維持管理事業	担当課	都市整備課	担当係	都市整備係

後期計画体系				予算科目			
計画	施策	17	暮らしを支える生活基盤が整ったまちをつくる		会計	1	一般会計
					款	8	土木費
	取り組み方針	500 雨水・下水を適切に処理する			項	4	下水路費
					目	1	下水路維持費
法令根拠条例等				個別計画			

実施期間　☐02年度のみ　☑単年度繰返　不明 年度より開始　☐期間限定（複数年）　年度～　年度

【事業の目的・内容】（改行は、「Alt」+「Enter」で行ってください）
町内の水路等の良好な排水機能を図るため、しゅんせつ（清掃）を行う。なお、しゅんせつ（清掃）は水路の現状、住民の方々や町内会からの要望により実施している。

【業務内容（町職員の仕事内容）】（改行は、「Alt」+「Enter」で行ってください）
現地の状況把握並びにしゅんせつ（清掃）業者への委託

☐ 2次評価会議に提出します（左にチェックを入れる）

主な事業費の内訳

下水排水路浚渫委託料	12,075 千円
土地借上料	269 千円
消耗品費	94 千円
	千円
	千円

1 現状把握の部（DO）

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段（主な活動）
02年度に行った主な活動（※箇条書きで記入）
水路等のしゅんせつ（清掃）

② 対象（誰、何を対象にしているのか）
しゅんせつ（清掃）が必要な町内の水路等

③ 意図（この事業で、対象をどのような状態にしたいのか）
町内の水路施設の良好な排水機能を図ることで防災、さらには環境衛生の向上を図る。

事務事業の目的

④ 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）

	名称	単位	01年度	02年度	03年度
			指標数値		
ア	しゅんせつ（清掃）箇所数	箇所	40	39	40（見込）
イ					（見込）
ウ					（見込）

⑤ 対象指標（対象の大きさを表す指標）

	名称	単位	01年度	02年度	03年度
			指標数値		
ア	しゅんせつ（清掃）必要箇所数	箇所	40	39	40（見込）
イ					（見込）
ウ					（見込）

⑥ 成果指標（対象における意図の達成度を表す指標）

	名称	単位		01年度	02年度	03年度
ア	しゅんせつ（清掃）実施箇所数	箇所	目標	75	50	40
			実績	40	39	
イ			目標			
			実績			
ウ			目標			
			実績			
エ			目標			
			実績			
オ			目標			
			実績			

(2) 総事業費の推移

事業費	財源内訳（千円）		01年度（決算値）	02年度（当初予算）	02年度（決算値）	03年度（当初予算）	04年度（計画）	05年度（計画）
	経費	国・県支出金、地方債等						
		受益者負担等						
		一般財源	12,647	12,590	12,437	13,080		
		合計（A）	12,647	12,590	12,437	13,080	0	0
		（内 会計年度任用職員人件費）						
	正職員人件費[按分]（B）		3,906	3,265	3,764	3,218		
	トータルコスト（A）＋（B）		16,553	15,855	16,201	16,298	0	0

事務事業評価表（事業実施年度：令和02年度）

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を開始したきっかけは何ですか？いつ頃どんな経緯で開始されましたか？	② 事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化していますか？	③ 事務事業に対して関係者からどんな意見や要望が寄せられていますか？（誰からの意見か明記）
市街化が進むにあたり、農業用水路の暗渠（4面水路）化が進められた。それに伴い人力でのしゅんせつ（清掃）ができなくなり、本事業が開始された。	宅地開発等による既存水路へ放流される雨水量の増大等により、水路内に溜まる土砂も増えており、その必要性も増大している。	町内会等より定期的な清掃を要望されている。

(4) 昨年度の評価結果の取り組み状況調べ

昨年度の事務事業評価結果		02年度の取り組み状況と今後の方針	
事業の方向性	令和02年度の取り組み概要及び期待される効果	実施状況	実施できなかった理由と今後の方針
☐ 廃止・休止 ☐ 目的の見直し ☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 事務事業終了 ☑ 現状維持・継続		☑ 記述どおり実施できた（コメント必要ありません） ☐ 一部実施できた（理由→） ☐ 実施できなかった（理由→）	

2 評価（SEE）及び全体総括の部＊原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

(1) 評価		評価の理由
目的妥当性評価	① 上位施策への貢献度は大きいですか？※総合計画を参照してください ☑ 貢献度大きい（理由→） ☐ 貢献度ふつう（理由→） ☐ 貢献度小さい（理由→）	水路の維持管理により、必要な生活基盤が整った中で暮らすことができる為、施策の目的に沿っている。
	② 税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？（事業の目的は、総合計画の町の役割や基本方針に合っていますか？） ☑ 妥当である（理由→） ☐ 妥当性が低い（理由→）	公共の水路（雨水排水路、農業用水路）を適切に維持管理することは行政の役割であるため妥当。
有効性評価	③ 成果がこれ以上向上する余地（可能性）はありますか？ ☐ 成果向上余地がある （理由→） ☑ 成果向上余地がない （理由→）	職員、委託業者、住民で必要箇所は十分に清掃を行なっている為、これ以上の向上余地がない。
	④ 廃止・休止した場合、成果への影響はありますか？ ☑ 影響あり（理由→） ☐ 影響なし（理由→）	水路の維持管理をしないことで、排水機能が弱くなり、水害が発生しやすくなる。
効率性評価	⑤ 現状の成果を落とさずにコスト（予算＋事務従事時間）を削減する新たな方法はありますか？（広域連携や民間委託等の導入など） ☐ ある（具体的な内容→） ☑ ない（理由→）	委託業者の選定は入札により行っており、これ以上の削減余地はない。

(2) 02年度を振り返って（全体総括・反省点）

コロナの影響により町内一斉清掃の実施されなかったため、作業実施を行うことが多かった。効率的に行いたいが、水路延長は膨大である為、思うようにいかない状況。地域住民の方の高齢化等もあり、作業箇所は増加傾向にあるため、近接箇所の清掃は時期を合わせて一括で行ったり、作業回数を必要最低限に抑えられるよう見直しを行った。

3 今後の方向性（03年度以降の計画と04年度予算への反映）(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性（複数選択可）	(2) 令和03年度以降に取り組む内容と期待される効果
☐ 廃止・休止（理由→） ☐ 目的の見直し（内容→） ☐ 有効性改善（成果向上）内容→ ☐ 効率性改善（コスト削減）内容→ ☐ 事業終了 ☑ 現状維持・継続	作業回数を必要最低限に抑えられるよう、事業をコンパクトに進めていきたい。

[志免町]

事務事業評価表（事業実施年度：令和02年度）

☑ 令和02年度 実施計画事業　　作成日 令和 3 年 4 月 日

事務事業	13039	下水排水路新設改良事業	担当課	都市整備課	担当係	都市整備係

後期計画体系				予算科目			
計画	施策	17	暮らしを支える生活基盤が整ったまちをつくる		会計	1	一般会計
					款	8	土木費
	取り組み方針	500	雨水・下水を適切に処理する		項	4	下水路費
					目	2	下水路新設改良費
法令根拠条例等				個別計画			

実施期間　☐02年度のみ　☑単年度繰返　不明 年度より開始　☐期間限定（複数年）　年度～　年度

【事業の目的・内容】（改行は、「Alt」+「Enter」で行ってください）
町内の水路等の良好な排水機能を図るため、水路の新設や改良工事を行う。なお、それらの工事は水路の現状、付近の状況を勘案し道路冠水対策計画に伴い実施している。

【業務内容（町職員の仕事内容）】（改行は、「Alt」+「Enter」で行ってください）
現地調査、施工方法の検討、設計積算及び工事発注

☐ 2次評価会議に提出します（左にチェックを入れる）

主な事業費の内訳
- 下水排水路整備工事 64,237 千円
- 調査設計業務委託料 5,566 千円
- 千円
- 千円
- 千円

1 現状把握の部（DO）

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段（主な活動）
02年度に行った主な活動（※箇条書きで記入）
水路の新設や改良工事。

② 対象（誰、何を対象にしているのか）
工事（整備）が必要な町内の水路等

③ 意図（この事業で、対象をどのような状態にしたいのか）
町内の水路施設の良好な排水機能を図ることで防災、さらには環境衛生の向上を図る。

事務事業の目的

④ 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）

	名称	単位	01年度	02年度	03年度
ア	工事件数	件	3	3	1（見込）
イ					（見込）
ウ					（見込）

⑤ 対象指標（対象の大きさを表す指標）

	名称	単位	01年度	02年度	03年度
ア	工事（整備）必要箇所数	箇所	4	3	1（見込）
イ					（見込）
ウ					（見込）

⑥ 成果指標（対象における意図の達成度を表す指標）

	名称	単位		01年度	02年度	03年度
ア	工事（整備）実施箇所数	箇所	目標	4	3	1
			実績	3	3	
イ	新規・改良工事延長	m	目標	100	180	30
			実績	86	150	
ウ	道路冠水対策整備率	%	目標	1.5	1.5	1.5
			実績	1.5	1.5	
エ			目標			
			実績			
オ			目標			
			実績			

(2) 総事業費の推移

事業費	財源内訳（千円）		01年度（決算値）	02年度（当初予算）	02年度（決算値）	03年度（当初予算）	04年度（計画）	05年度（計画）
	経費	国・県支出金、地方債等						
		受益者負担等						
		一般財源	31,445	70,269	69,803	34,800	34,800	34,800
		合計（A）	31,445	70,269	69,803	34,800	34,800	34,800
		（内 会計年度任用職員人件費）						
	正職員人件費[按分]（B）		4,277	3,649	3,597	7,993		
	トータルコスト（A）＋（B）		35,722	73,918	73,400	42,793	34,800	34,800

事務事業評価表（事業実施年度：令和02年度）

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を開始したきっかけは何ですか？いつ頃どんな経緯で開始されましたか？	② 事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化していますか？	③ 事務事業に対して関係者からどんな意見や要望が寄せられていますか？（誰からの意見か明記）
市街化が進むにつれ、農業用水路を暗渠（4面水路）化して、その上を歩道等として利用するための改良工事として進められた。さらには防災対策として水路の新設・改良工事が行われてきた。	宅地開発による既存水路へ放流される雨水量の増大により、水路の断面拡大の改良工事の必要が生じている。	抜本的な水路改良工事（水路断面拡大やバイパス）の要望。

(4) 昨年度の評価結果の取り組み状況調べ

昨年度の事務事業評価結果		02年度の取り組み状況と今後の方針	
事業の方向性	令和02年度の取り組み概要及び期待される効果	実施状況	実施できなかった理由と今後の方針
☐ 廃止・休止 ☐ 目的の見直し ☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 事務事業終了 ☑ 現状維持・継続		☐ 記述どおり実施できた（コメント必要ありません） ☐ 一部実施できた（理由→） ☐ 実施できなかった（理由→）	

2 評価（SEE）及び全体総括の部＊原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

(1) 評価		評価の理由
目的妥当性評価	① 上位施策への貢献度は大きいですか？※総合計画を参照してください ☑ 貢献度大きい（理由→） ☐ 貢献度ふつう（理由→） ☐ 貢献度小さい（理由→）	水路の新設及び改良により必要な生活基盤が整備されているなかで暮らせるため。
	② 税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？（事業の目的は、総合計画の町の役割や基本方針に合っていますか？） ☑ 妥当である（理由→） ☐ 妥当性が低い（理由→）	雨水排水路や農業用水路という生活基盤の新設・改良および維持管理を行っていくことは、行政の役割であるため妥当。
有効性評価	③ 成果がこれ以上向上する余地（可能性）はありますか？ ☐ 成果向上余地がある （理由→） ☑ 成果向上余地がない （理由→）	道路冠水対策計画に応じた予算の確保が出来れば効率が良い方法で事業を行い、成果向上する。
	④ 廃止・休止した場合、成果への影響はありますか？ ☑ 影響あり（理由→） ☐ 影響なし（理由→）	年々増大する降雨量に対応できず、水害が確実に発生する。
効率性評価	⑤ 現状の成果を落とさずにコスト（予算＋事務従事時間）を削減する新たな方法はありますか？（広域連携や民間委託等の導入など） ☐ ある（具体的な内容→） ☑ ない（理由→）	専門知識を持った業者に業務委託を行うことで、最小の事務量で済ませている。また、委託業者の選定については入札により行っているため削減の余地はない。

(2) 02年度を振り返って（全体総括・反省点）

道路冠水対策計画に伴う工事、測量設計は進捗出来なかった。老朽化対策工事については、工事、調査設計を行った。今後計画を基に工事を進めることが出来れば効果的な対策が出来る。それが、予算削減にも繋がる。

3 今後の方向性（03年度以降の計画と04年度予算への反映）(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性（複数選択可）	(2) 令和03年度以降に取り組む内容と期待される効果
☐ 廃止・休止（理由→） ☐ 目的の見直し（内容→） ☐ 有効性改善（成果向上）内容→ ☐ 効率性改善（コスト削減）内容→ ☐ 事業終了 ☑ 現状維持・継続	

[志免町]

事務事業評価表（事業実施年度：令和02年度）

☐ 令和02年度 実施計画事業　　作成日 令和 3 年 6 月 23 日

事務事業	13041	国鉄炭鉱跡地共同管理執行協議会事業	担当課	都市整備課	担当係	都市計画係

後期計画体系				予算科目			
計画	施策	17	暮らしを支える生活基盤が整ったまちをつくる		会計	1	一般会計
					款	2	総務費
	取り組み方針	470	都市計画に基づいた土地利用を進める		項	3	企画費
					目	3	ぼた山対策費
法令根拠条例等		地方自治法第252条の2の2		個別計画			

実施期間　☐02年度のみ　☑単年度繰返　R2 年度より開始　☐期間限定（複数年）　年度～　年度

【事業の目的・内容】（改行は、「Alt」+「Enter」で行ってください）
国鉄炭鉱跡地の維持管理を目的とする志免・須恵・粕屋の3町で構成される「粕屋・志免・須恵国鉄炭鉱跡地共同管理執行協議会事務」の事務局に係る事務。
3町で2年毎に輪番制にて事務局運営事務。

【業務内容(町職員の仕事内容)】（改行は、「Alt」+「Enter」で行ってください）
協議会からの文書収受事務、協議会の各会議への参加、草刈り、協議会への負担金支払い事務。

☐ 2次評価会議に提出します（左にチェックを入れる）

主な事業費の内訳

粕屋・志免・須恵国鉄炭鉱跡地共同管理執行協議会負担金	200 千円
草刈委託料	372 千円
	千円
	千円
	千円

1 現状把握の部（DO）

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段（主な活動）
02年度に行った主な活動（※箇条書きで記入）
町長協議の開催（1回）
担当課長会の開催（1回）
ぼた山維持管理業務

② 対象（誰、何を対象にしているのか）
粕屋・志免・須恵国鉄炭鉱跡地共同管理執行協議会

③ 意図（この事業で、対象をどのような状態にしたいのか）
協議会の円滑な運営や協議会の決定した事業の推進を図る。

事務事業の目的

④ 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）

	名称	単位	01年度	02年度	03年度
			指標数値		
ア	総会以外の会議開催回数	回	9	2	4（見込）
イ	総会の開催回数	回	2	0	1（見込）
ウ	負担金	千円	200	200	200（見込）

⑤ 対象指標（対象の大きさを表す指標）

	名称	単位	01年度	02年度	03年度
ア	協議会	回	1	0	1（見込）
イ	実施事業数	件	0	2	4（見込）
ウ					（見込）

⑥ 成果指標（対象における意図の達成度を表す指標）

	名称	単位		01年度	02年度	03年度
ア	完了事業数	件	目標	1	1	4
			実績	0	2	
イ			目標			
			実績			
ウ			目標			
			実績			
エ			目標			
			実績			
オ			目標			
			実績			

(2) 総事業費の推移

事業費	財源内訳（千円）		01年度（決算値）	02年度（当初予算）	02年度（決算値）	03年度（当初予算）	04年度（計画）	05年度（計画）
経費	国・県支出金、地方債等							
	受益者負担等							
	一般財源		277	580	572	587		
	合計（A）		277	580	572	587	0	0
	（内 会計年度任用職員人件費）							
正職員人件費[按分]（B）			3,750	3,117	2,912	3,680		
トータルコスト（A）＋（B）			4,027	3,697	3,484	4,267	0	0

事務事業評価表（事業実施年度：令和02年度）

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を開始したきっかけは何ですか？いつ頃どんな経緯で開始されましたか？	② 事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化していますか？	③ 事務事業に対して関係者からどんな意見や要望が寄せられていますか？（誰からの意見か明記）
平成29・30年度の総会において、粕屋町の一部の議員より長年協議しているにも関わらず前進していないのでスリム化してほしいとの要望が上がり、管理部門が三町長以下各町職員が運営する「粕屋・志免・須恵国鉄炭鉱跡地共同管理執行協議会」が発足したため。	国鉄炭鉱跡地の維持管理方法が法令上正しい状態になった。	特になし。

(4) 昨年度の評価結果の取り組み状況調べ

昨年度の事務事業評価結果		02年度の取り組み状況と今後の方針	
事業の方向性	令和02年度の取り組み概要及び期待される効果	実施状況	実施できなかった理由と今後の方針
☐ 廃止・休止 ☐ 目的の見直し ☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 事務事業終了 ☑ 現状維持・継続		☑ 記述どおり実施できた （コメント必要ありません） ☐ 一部実施できた（理由→） ☐ 実施できなかった（理由→）	

2 評価（SEE）及び全体総括の部＊原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

(1) 評価		評価の理由
目的妥当性評価	① 上位施策への貢献度は大きいですか？※総合計画を参照してください ☐ 貢献度大きい（理由→） ☑ 貢献度ふつう（理由→） ☐ 貢献度小さい（理由→）	国鉄炭鉱跡地について3町で協議することにより、継続的な維持管理に結び付く。
目的妥当性評価	② 税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？ （事業の目的は、総合計画の町の役割や基本方針に合っていますか？） ☑ 妥当である（理由→） ☐ 妥当性が低い（理由→）	国鉄炭鉱跡地は3町共有の普通財産であり、その維持管理は所有者としての責務であるため妥当。
有効性評価	③ 成果がこれ以上向上する余地（可能性）はありますか？ ☐ 成果向上余地がある （理由→） ☑ 成果向上余地がない （理由→）	事務局運営は協議会規約に則って行われるものであり、規定の範囲内の事務を遂行するものであるため。
有効性評価	④ 廃止・休止した場合、成果への影響はありますか？ ☑ 影響あり（理由→） ☐ 影響なし（理由→）	・維持管理ができなくなり、放置状態になってしまう恐れがある。
効率性評価	⑤ 現状の成果を落とさずにコスト（予算＋事務従事時間）を削減する新たな方法はありますか？（広域連携や民間委託等の導入など） ☐ ある（具体的な内容→） ☑ ない（理由→）	予算は維持管理に係る各町負担金のみであり、また事務従事時間も最低限で削減の余地がない。

(2) 02年度を振り返って（全体総括・反省点）

本年度より、「粕屋・志免・須恵国鉄炭鉱跡地共同管理執行協議会」が発足し、正しい形で国鉄炭鉱跡地の維持管理に努めることができ、合わせて事務のスリム化も達成できた。来年度より名称は「粕屋・志免・須恵国鉄炭鉱跡地共同管理執行協議会事業」とします。

3 今後の方向性（03年度以降の計画と04年度予算への反映）(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性（複数選択可）	(2) 令和03年度以降に取り組む内容と期待される効果
☐ 廃止・休止（理由→） ☐ 目的の見直し（内容→） ☐ 有効性改善（成果向上）内容→ ☐ 効率性改善（コスト削減）内容→ ☐ 事業終了 ☑ 現状維持・継続	

[志免町]

事務事業評価表（事業実施年度：令和02年度）

☑ 令和02年度 実施計画事業　　作成日 令和 3 年 4 月 16 日

事務事業	13046	都市計画マスタープラン改定業務	担当課	都市整備課	担当係	都市計画係

計画体系				予算科目			
後期計画	施策	17	暮らしを支える生活基盤が整ったまちをつくる		会計	01	一般会計
					款	08	土木費
	取り組み方針	470	都市計画に基づいた土地利用を進める		項	05	都市計画費
					目	01	都市計画総務費
法令根拠条例等				個別計画			

実施期間　☐02年度のみ　☐単年度繰返　年度より開始　☑期間限定（複数年）　2 年度～ 3 年度

【事業の目的・内容】（改行は、「Alt」+「Enter」で行ってください）

都市計画法第18条の2に基づき、平成21年5月に策定された志免町都市計画マスタープランは、策定から概ね10年が経過し、社会情勢や町の環境、町民の意識は大きく変化し、新たなまちづくりの課題が発生している。こうした課題に対応し、持続可能なまちづくりを進めるため、令和2年より志免町都市計画マスタープランの改定業務を行う。

【業務内容（町職員の仕事内容）】（改行は、「Alt」+「Enter」で行ってください）

・会議体の運営（都市計画策定委員会、庁内調整会議、都市計画審議会など）
・その他住民参画の実施（町民アンケート調査、中学生アンケート調査）

☐ 2次評価会議に提出します（左にチェックを入れる）

主な事業費の内訳

都市計画マスタープラン策定員会委員報酬	198 千円
郵便料	84 千円
都市計画マスタープラン改定支援業務委託料	8,173 千円
	千円
	千円

1 現状把握の部（DO）

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段（主な活動）

02年度に行った主な活動（※箇条書きで記入）

・会議体の運営（都市計画策定委員会、庁内調整会議、都市計画審議会など）
・その他住民参画の実施（町民アンケート調査、中学生アンケート調査）

④ 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）

	名称	単位	01年度	02年度	03年度
			指標数値		
ア	委員会開催数（策定委員会、庁内調整会議、都市計画審議会など）	回	0	6	11（見込）
イ	その他の住民参画の実施数（アンケート）	回	0	2	0（見込）
ウ					（見込）

事務事業の目的

② 対象（誰、何を対象にしているのか）

・志免町都市計画マスタープラン

⑤ 対象指標（対象の大きさを表す指標）

	名称	単位	01年度	02年度	03年度
ア	志免町都市計画マスタープラン	計画	0	1	1（見込）
イ					（見込）
ウ					（見込）

③ 意図（この事業で、対象をどのような状態にしたいのか）

・志免町都市計画マスタープランを改定する

⑥ 成果指標（対象における意図の達成度を表す指標）

	名称	単位		01年度	02年度	03年度
ア	進捗率	%	目標	0	50	100
			実績	0	50	
イ			目標			
			実績			
ウ			目標			
			実績			
エ			目標			
			実績			
オ			目標			
			実績			

(2) 総事業費の推移

事業費	財源内訳（千円）		01年度（決算値）	02年度（当初予算）	02年度（決算値）	03年度（当初予算）	04年度（計画）	05年度（計画）
	経費	国・県支出金、地方債等						
		受益者負担等						
		一般財源		9,145	8,460	11,199	0	0
		合計（A）	0	9,145	8,460	11,199	0	0
		（内 会計年度任用職員人件費）						
	正職員人件費[按分]（B）			5,835	5,358	6,260		
	トータルコスト（A）＋（B）		0	14,980	13,818	17,459	0	0

事務事業評価表（事業実施年度：令和02年度）

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を開始したきっかけは何ですか？いつ頃どんな経緯で開始されましたか？	② 事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化していますか？	③ 事務事業に対して関係者からどんな意見や要望が寄せられていますか？（誰からの意見か明記）
平成21年5月に策定された志免町都市計画マスタープランは、目標年次を令和12年に設定し、その中間目標年次である令和2年を基本とし、見直すこととなっている。	志免町は、今後人口増加が見込まれているが、いずれは人口減少に転じることが予想されています。	町だけの意見のみならず、地域住民等の意見を収集し、計画に十分反映することなどの意見がある。

(4) 昨年度の評価結果の取り組み状況調べ

昨年度の事務事業評価結果		02年度の取り組み状況と今後の方針	
事業の方向性	令和02年度の取り組み概要及び期待される効果	実施状況	実施できなかった理由と今後の方針
☐ 廃止・休止 ☐ 目的の見直し ☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 事務事業終了 ☐ 現状維持・継続		☐ 記述どおり実施できた（コメント必要ありません） ☐ 一部実施できた（理由→） ☐ 実施できなかった（理由→）	

2 評価（SEE）及び全体総括の部＊原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

(1) 評価		評価の理由
目的妥当性評価	① 上位施策への貢献度は大きいですか？※総合計画を参照してください ☑ 貢献度大きい（理由→） ☐ 貢献度ふつう（理由→） ☐ 貢献度小さい（理由→）	第6次総合計画に次ぐ町の上位計画で、志免町の20年先を見据えたまちづくりに関する計画であるため。
目的妥当性評価	② 税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？（事業の目的は、総合計画の町の役割や基本方針に合っていますか？） ☑ 妥当である（理由→） ☐ 妥当性が低い（理由→）	志免町都市計画マスタープランは、将来の志免町のまちづくりの方向性を示すものであるため。
有効性評価	③ 成果がこれ以上向上する余地（可能性）はありますか？ ☐ 成果向上余地がある （理由→） ☑ 成果向上余地がない （理由→）	計画の策定が目的であるため、これ以上の成果向上は見込めるものではないため。
有効性評価	④ 廃止・休止した場合、成果への影響はありますか？ ☑ 影響あり（理由→） ☐ 影響なし（理由→）	志免町都市計画マスタープランは、将来の志免町のまちづくりの方向性を示すものであるため、廃止・休止した場合は、志免町の将来のまちづくりの方向性を示すことができなくなり、計画的なまちづくりを行えなくなる。
効率性評価	⑤ 現状の成果を落とさずにコスト（予算＋事務従事時間）を削減する新たな方法はありますか？（広域連携や民間委託等の導入など） ☐ ある（具体的な内容→） ☑ ない（理由→）	改定業務にあたって、都市計画マスタープラン策定委員や庁内調整会議のメンバー、都市計画審議会委員の協力や改定業務委託支援業者との連携により、効率的に業務を行っているため、削減する余地はない。

(2) 02年度を振り返って（全体総括・反省点）

改定業務の初年度にあたる令和2年度は、計6回の会議を行い、志免町の現状と課題の抽出、将来都市像及び全体構想を策定した。また、町民の意見把握のため、アンケート調査を実施した。今年度は、コロナの影響もあり、打合せ等十分に行えない時期もあったため、今後は会議開催に関しても、効率的かつ効果的に実施されるように計画的に進めていきたい。

3 今後の方向性（03年度以降の計画と04年度予算への反映）(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性（複数選択可）	(2) 令和03年度以降に取り組む内容と期待される効果
☐ 廃止・休止（理由→） ☐ 目的の見直し（内容→） ☐ 有効性改善（成果向上）内容→ ☐ 効率性改善（コスト削減）内容→ ☐ 事業終了 ☑ 現状維持・継続	

[志免町]

事務事業評価表（事業実施年度：令和02年度）

☐ 令和02年度 実施計画事業　　作成日 令和 3 年 4 月 日

事務事業	16011	志免町水道事業	担当課	上下水道課	担当係	財務係・業務係

計画体系				予算科目		
後期計画	施策	17	暮らしを支える生活基盤が整ったまちをつくる	会計		
				款		
	取り組み方針	480 安全な水を安定して供給する		項		
				目		

法令根拠条例等	水道法（昭和32年6月15日法律第177号） 志免町水道事業給水条例（昭和40年3月15日志免町条例第70号）	個別計画	志免町水道事業ビジョン

実施期間　☐02年度のみ　☑単年度繰返　S43 年度より開始　☐期間限定（複数年）　年度～　年度

【事業の目的・内容】（改行は、「Alt」+「Enter」で行ってください）

本町住民に対し清浄な飲料水の供給を図り、もって公衆衛生の向上と生活環境の改善に寄与する

【業務内容（町職員の仕事内容）】（改行は、「Alt」+「Enter」で行ってください）

・水道事業会計に関すること　・水道料金に関すること　・水道施設の設計、施工、維持管理に関すること
・浄水場の運営に関すること
その他志免町水道事業及び下水道事業の組織及び事務分掌規程（平成13年10月1日志免町水道事業管理規程第1号）のとおり

☐ 2次評価会議に提出します（左にチェックを入れる）

主な事業費の内訳

受水費	283,085 千円
企業債償還金	165,070 千円
配水管布設替工事	98,479 千円
土生山浄水場施設関係工事	110,840 千円
	千円

1 現状把握の部（DO）

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段（主な活動）

02年度に行った主な活動（※箇条書きで記入）

・水道企業会計管理
・水道料金の賦課徴収
・給水工事申請受付、検査
・水道施設の維持管理

事務事業の目的

② 対象（誰、何を対象にしているのか）

①町民
②水道事業者

③ 意図（この事業で、対象をどのような状態にしたいのか）

①安全な水道水を安定して供給する
②事業継続のため健全な財政運営を行う

④ 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）

	名称	単位	01年度	02年度	03年度
			指標数値		
ア	年間総配水量	㎥	4,080,180	4,227,673	4,124,500（見込）
イ	水道事業営業収益（税抜）	千円	986,864	828,134	961,005（見込）
ウ					（見込）

⑤ 対象指標（対象の大きさを表す指標）

	名称	単位	01年度	02年度	03年度
			指標数値		
ア	給水人口	人	46,258	46,359	47,000（見込）
イ					（見込）
ウ					（見込）

⑥ 成果指標（対象における意図の達成度を表す指標）

	名称	単位		01年度	02年度	03年度
ア	水質事故発生件数	回	目標	0	0	0
			実績	0	0	
イ	施設の老朽化等による断水等発生件数	回	目標	0	0	0
			実績	1	0	
ウ	経常収支比率（100%以上で単年度支出が黒字であることを示す）	%	目標	116.1	120.0	120.0
			実績	123.1	120.3	
エ	管路経年比率（法定耐用年数を超えた管路の割合を示す指標）	%	目標	2.5	2.5	2.5
			実績	0.0	0.0	
オ			目標			
			実績			

(2) 総事業費の推移

事業費	財源内訳（千円）		01年度（決算値）	02年度（当初予算）	02年度（決算値）	03年度（当初予算）	04年度（計画）	05年度（計画）
経費	国・県支出金、地方債等		37,711	65,686	143,778	59,853		
	受益者負担等		1,049,280	1,047,824	890,511	1,033,497		
	一般財源		263,565	247,373	211,861	303,565		
	合計（A）		1,350,556	1,360,883	1,246,150	1,396,915	0	0
	（内 会計年度任用職員人件費）		7,777	3,354	3,287	3,696		
正職員人件費（B）			70,490	73,742	71,346	65,311		
トータルコスト（A）＋（B）			1,421,046	1,434,625	1,317,496	1,462,226	0	0

事務事業評価表（事業実施年度：令和02年度）

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を開始したきっかけは何ですか？いつ頃どんな経緯で開始されましたか？	② 事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化していますか？	③ 事務事業に対して関係者からどんな意見や要望が寄せられていますか？（誰からの意見か明記）
水道法に基づき、町民に水道水を供給するために開始された。	全国的な傾向として、人口減少による水道事業の継続性が危ぶまれており、水道法の改正により水道事業を民間事業者に売却することが可能となった。	国による水道事業の広域連携の取り組みが進められている。

(4) 昨年度の評価結果の取り組み状況調べ

昨年度の事務事業評価結果		02年度の取り組み状況と今後の方針	
事業の方向性	令和02年度の取り組み概要及び期待される効果	実施状況	実施できなかった理由と今後の方針
☐ 廃止・休止 ☐ 目的の見直し ☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 事務事業終了 ☑ 現状維持・継続	企業職員の削減と業務の効率化を目的として、窓口業務等を民間事業者へ包括委託するための業務整理を進める。	☑ 記述どおり実施できた（コメント必要ありません） ☐ 一部実施できた（理由→） ☐ 実施できなかった（理由→）	

2 評価（SEE）及び全体総括の部＊原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

(1) 評価		評価の理由
目的妥当性評価	① 上位施策への貢献度は大きいですか？※総合計画を参照してください ☑ 貢献度大きい（理由→） ☐ 貢献度ふつう（理由→） ☐ 貢献度小さい（理由→）	上水道は社会の基本インフラであり、安全で安定した供給が求められる
	② 税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？ （事業の目的は、総合計画の町の役割や基本方針に合っていますか？） ☑ 妥当である（理由→） ☐ 妥当性が低い（理由→）	水道法第6条の規定に基づき、水道事業を行っている。
有効性評価	③ 成果がこれ以上向上する余地（可能性）はありますか？ ☐ 成果向上余地がある （理由→） ☑ 成果向上余地がない （理由→）	財源の範囲で優先順位を考え、計画的に事業を行っている。
	④ 廃止・休止した場合、成果への影響はありますか？ ☑ 影響あり（理由→） ☐ 影響なし（理由→）	安全な水を安定して供給することができなくなる。
効率性評価	⑤ 現状の成果を落とさずにコスト（予算＋事務従事時間）を削減する新たな方法はありますか？（広域連携や民間委託等の導入など） ☑ ある（具体的な内容→） ☐ ない（理由→）	事業の効率化と人員削減を目的として、民間事業者の活用を進めている。

(2) 02年度を振り返って（全体総括・反省点）

・窓口業務等を民間事業者へ包括委託するための業務整理のひとつとして組織体制の見直しを行った。
・桜丘浄水場跡地については現況と筆界の乖離が大きく、調査・整理に時間が必要であり、令和2年度内に終えることができなかった。

3 今後の方向性（03年度以降の計画と04年度予算への反映）(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性（複数選択可）	(2) 令和03年度以降に取り組む内容と期待される効果
☐ 廃止・休止（理由→） ☐ 目的の見直し（内容→） ☐ 有効性改善（成果向上）内容→ ☑ 効率性改善（コスト削減）内容→ ☐ 事業終了 ☐ 現状維持・継続	企業職員の削減と業務の効率化を目的として、窓口業務等を民間事業者へ包括委託するための業務整理を進める。

[志免町]

事務事業評価表（事業実施年度：令和02年度）

☐ 令和02年度 実施計画事業　　作成日 令和 3 年 4 月 日

事務事業	16012	志免町流域関連公共下水道事業	担当課	上下水道課	担当係	業務係・財務係

計画体系				予算科目		
後期計画	施策	17	暮らしを支える生活基盤が整ったまちをつくる	会計		
				款		
	取り組み方針	500 雨水・下水を適切に処理する		項		
				目		
法令根拠条例等		下水道法（昭和33年4月24日法律第79号） 志免町下水道条例 （平成5年3月29日志免町条例第8号）		個別計画	志免町流域関連公共下水道事業経営戦略	
実施期間	☐02年度のみ	☑単年度繰返	S43 年度より開始	☐期間限定（複数年）	年度～	年度

【事業の目的・内容】（改行は、「Alt」+「Enter」で行ってください）

町の健全な発展及び公衆衛生の向上に寄与し、あわせて公共用水域の水質の保全に資するため、町の公共下水道を設置する。

☐ 2次評価会議に提出します（左にチェックを入れる）

主な事業費の内訳

企業債償還金	693,890 千円
流域下水道維持管理負担金	35,419 千円
企業債利息	117,055 千円
流域下水道建設負担金	394,506 千円
下水道マンホール鉄蓋取替工事	5,747 千円

【業務内容（町職員の仕事内容）】（改行は、「Alt」+「Enter」で行ってください）

・下水道事業会計に関すること　・下水道使用料金に関すること
・下水道施設の設計、施工、維持管理に関すること
その他志免町水道事業及び下水道事業の組織及び事務分掌規程 （平成13年10月1日志免町水道事業管理規程第1号）のとおり

1 現状把握の部（DO）

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段（主な活動）

02年度に行った主な活動（※箇条書きで記入）

・下水道企業会計管理
・下水道使用料金の賦課徴収
・排水設備工事申請受付、検査
・下水道施設の維持管理

② 対象（誰、何を対象にしているのか）

①町民
②下水道事業者

③ 意図（この事業で、対象をどのような状態にしたいのか）

①下水道により快適で清潔な生活環境を提供する
②事業継続のため健全な財政運営を行う

事務事業の目的

④ 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）

	名称	単位	01年度	02年度	03年度
			指標数値		
ア	年間総汚水量	㎥	3,756,621	3,911,658	4,051,500（見込）
イ	公共下水道事業営業収益（税抜）	千円	597,670	515,663	610,360（見込）
ウ	下水道普及率	%	99.9	100	100（見込）

⑤ 対象指標（対象の大きさを表す指標）

	名称	単位	01年度	02年度	03年度
ア	水洗化人口	人	44,737	44,914	45,000（見込）
イ					（見込）
ウ					（見込）

⑥ 成果指標（対象における意図の達成度を表す指標）

	名称	単位		01年度	02年度	03年度
ア	下水道普及率	%	目標	99.9	99.9	99.9
			実績	99.9	99.9	
イ	経常収支比率（100%以上で単年度支出が黒字であることを示す）	%	目標	110.6	110.0	110.0
			実績	109.4	107.0	
ウ	管渠老朽化率（法定耐用年数を超えた管路の割合を示す指標）	%	目標	2.0	2.0	2.0
			実績	0.0	0.0	
エ	下水道水洗化率	%	目標	100	100	100
			実績	96.50	96.57	
オ			目標			
			実績			

(2) 総事業費の推移

事業費	財源内訳（千円）		01年度（決算値）	02年度（当初予算）	02年度（決算値）	03年度（当初予算）	04年度（計画）	05年度（計画）
経費	国・県支出金、地方債等		791,468	777,340	866,515	758,002		
	受益者負担等		653,908	662,735	572,203	673,260		
	一般財源		342,737	397,045	338,202	388,927		
	合計（A）		1,788,113	1,837,120	1,776,920	1,820,189	0	0
	（内 会計年度任用職員人件費）		0	0	460	2,390		
正職員人件費（B）			36,155	37,799	36,620	38,207		
トータルコスト（A）＋（B）			1,824,268	1,874,919	1,813,540	1,858,396	0	0

事務事業評価表（事業実施年度：令和02年度）

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を開始したきっかけは何ですか？いつ頃どんな経緯で開始されましたか？	② 事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化していますか？	③ 事務事業に対して関係者からどんな意見や要望が寄せられていますか？（誰からの意見か明記）
下水道法に基づき、志免町に公共下水道を整備するために開始された。	全国的な傾向として、人口減少による下水道事業の継続性が危ぶまれている。	国による汚水処理の広域連携の取り組みが進められている。

(4) 昨年度の評価結果の取り組み状況調べ

昨年度の事務事業評価結果		02年度の取り組み状況と今後の方針	
事業の方向性	令和02年度の取り組み概要及び期待される効果	実施状況	実施できなかった理由と今後の方針
☐ 廃止・休止 ☐ 目的の見直し ☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 事務事業終了 ☑ 現状維持・継続	下水道施設の改築事業については、国土交通省のストックマネジメント支援事業（交付金）を活用することで町の支出を抑えることができる。	☑ 記述どおり実施できた（コメント必要ありません） ☐ 一部実施できた（理由→） ☐ 実施できなかった（理由→）	

2 評価（SEE）及び全体総括の部＊原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

(1) 評価		評価の理由
目的妥当性評価	① 上位施策への貢献度は大きいですか？※総合計画を参照してください ☑ 貢献度大きい（理由→） ☐ 貢献度ふつう（理由→） ☐ 貢献度小さい（理由→）	下水道は社会の基本インフラであり、快適で清潔な生活環境を維持するために必要不可欠なものである。
	② 税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？（事業の目的は、総合計画の町の役割や基本方針に合っていますか？） ☑ 妥当である（理由→） ☐ 妥当性が低い（理由→）	下水道法第3条の規定に基づき、下水道事業を行っている。
有効性評価	③ 成果がこれ以上向上する余地（可能性）はありますか？ ☐ 成果向上余地がある （理由→） ☑ 成果向上余地がない （理由→）	財源の範囲で優先順位を考え、計画的に事業を行っている。
	④ 廃止・休止した場合、成果への影響はありますか？ ☑ 影響あり（理由→） ☐ 影響なし（理由→）	快適で清潔な生活環境を維持できなくなる。
効率性評価	⑤ 現状の成果を落とさずにコスト（予算＋事務従事時間）を削減する新たな方法はありますか？（広域連携や民間委託等の導入など） ☑ ある（具体的な内容→） ☐ ない（理由→）	事業の効率化と人員削減を目的として、民間事業者の活用を進めている。

(2) 02年度を振り返って（全体総括・反省点）

長寿命化計画に基づく下水道施設の更新工事が完了した。次年度より新たにストックマネジメントに基づく更新工事を実施する。

3 今後の方向性（03年度以降の計画と04年度予算への反映）(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性（複数選択可）	(2) 令和03年度以降に取り組む内容と期待される効果
☐ 廃止・休止（理由→） ☐ 目的の見直し（内容→） ☐ 有効性改善（成果向上）内容→ ☐ 効率性改善（コスト削減）内容→ ☐ 事業終了 ☑ 現状維持・継続	県道志免宇美線の工事着工に向け、吉原地区の下水道事業計画の策定に向けた測量調査を行う。